

第三十九回 帝國議會 蠶絲業法中改正法律案委員會議錄（速記）第二回

(九五)

大正六年七月六日午後一時十四分開講
出席委員左ノ如シ

武藤

金吉君

若尾

幾造君

工藤

善助君

○政府委員（芳賀權四郎君）此間モ一蛾飼育ノ遺り方ニ付キマシテハ大體御答ヲ致シタル事項アリマスカ、尙ホ其施行上ニ付テ御尋デアリマスカラ申上ケマスガ、ソレハ命令デドウ云フ事柄ニ付テ検査ヲスルト云フコトヲ規定致シマシテ、尙ホ其上ニ細カク施行手續ナルモノヲ設ケマシテ吏員ニ示スコトニシマス、サウシテドウ云フモノが合格不格ト云フ標準ヲ明カニ示ス考ガアリマス、吏員ノ考デ合格不格ヲ決スルト云フノハナクシテ、施行手續上其標準ヲ示シテ置キマスカラ、間違ハ無イ積リデアリマス

堀切

善兵衛君

生田

和平君

中村

喜平君

隅田

豊吉君

小橋

藻三衛君

植原

悦二郎君

松井

文太郎君

横井

藤四郎君

井原

百介君

古屋

慶隆君

半谷

清壽君

降旗

元太郎君

小西

和君

農商務大臣左ノ如シ

仲小路

廉君

出席國務大臣左ノ如シ

農商務次官

上山滿之進君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席政府委員左ノ如シ

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農商務次官

上山滿之進君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務技師

芳賀權四郎君

農商務省農務局長

道家

○委員長（武藤金吉君）配付シテアリマス、ソレヲ一讀ヲ願ヒタ

出席農商務次官

農商務技師

○降旗元太郎君 私ハ一蛾別飼育ノコトニ付テ御尋ラシタ、一蛾別飼育ノ有利ナルコトハ、此頃芳賀サンカラノ御説明デモ能ク分シテ居リマスルシ、ソレハ私共モ成程其點ニ付テダケハ有利ナリト存シマスケレドモ、一蛾別飼育ハ既ニ種屋ノ方デ言ヒマスルト、

時間モ労力モ經費モ非常ニ掛カルコトニナシテ、經費ノ中ニハ無論蠶室ノ場所ヲ非常ニ多ク要スルト云フコトモ含シテ居リマス、ソレデ種屋ハソレ程ノコトヲ忍ンデヤッテ、サウシテ一蛾別飼育ノ効果ガドレダケアルカト云ヘバ、私ハ根本ニ於テ疑ガアル。今迄ノヤウニ其粒ノ揃ツタ繭カラ出テ、サウシテアノ蛾が出て、サウシテ交尾シテ拵ヘタ種ハ、成程宜カモ知レナイケレドモ、矢張動物ノ進化ノ理届ハ必シモサウノミ言ヘナイト思フ、野蠶ナ奴ト文明ノ奴ト夫婦ニナシテ良イ子ガ出來ルト云フコトモ、一ノ進化ノ理届デアルト思フ、ソレデスカラ此標準ハ施行細則デ御示シニナルニシテモ——矢張是ハ何處ニカアリマシタ

○政府委員(芳賀權四郎君) 其細カイコトハ書イテアリマセヌ

○降旗元太郎君 ドウ云フ風ニ標準ヲ御極メニナシテ見タ所ガ、矢張粒ノ揃ツタモノヲ取ルト云フヤウナ恰好ニナシテ、サウスルト粒ノ揃ツタ繭ヲ造ル其親ガ、必シモ其蠶ノ有スル總テノ優秀ナル動物ノ素質ヲ有シテ居ルトハ言ヘナイト思フ、ドウシテモ野蠶ナ奴、デモ動物ニ有シテ居ル優秀ナル何等カノモノヲ有シテ居ル、ソレト矢張交尾セセテ良イモノガ出來ルノダト私ハ思シテ居ル、ソレダカラシテ餘り上品ナモノバカリヲ拵ヘヤウト思シテ、却テ脆弱イモノヲ段々捨上ゲテ行クト云フコトニナルト云フ、是ハ理屈デナシニ實驗ガ芳賀サンナドニハ御有リノ苦ダト思フ、サウスルト是程手數ノ掛カル費用ノ掛カル年ナガラソレハ元ト數種類ガ合シテ居リマスカラ、學問上カラ飼育ト云フモニ、ソシナニ熱心ニオヤリニナラヌデモ宜イヤウニ思フ、是ハ動物進化ノ理届ニ於テ、餘リニ一蛾別飼育ヲ御熱心ニナルト云フト、却シテ何等カノ缺點ヲヨニ残スト云フコトニナルダウト云フ懸念ヲ私ハ有シテ居ル、サウスレバ粹製デ親ヲ一蛾々々ニ區別ヲサシテ、サウシテ病毒検査ヲサレテアルノデスカラ、ソレ以上ニ繭ノ形ナドヲサウ一時今年ナラ今年出來ル繭ヲ、サウ氣ニ御掛ケニナシテモ、是ハ先祖代々モウ非常ニ何百回カ何千回カ知ラヌ間雜種ノ來テ居ルノダカラ、色ミナモノト交尾シテ色ミノ血ガ雜シテ居ノデアリマスカラ、子ノ時代ニ揃ツタ繭粒テアッテモ、孫ノ時代ニハ其中デモ優秀ナルモノヲ一蛾別飼育デ擇シテ御居デニナシテモ、其一蛾ノ中ニ三百ナリ四百ナリノ種ノ中ニハ矢張色ミナ血ガ傳シテ、ソレガ間歇的ニ動イテ來ルト云フト、之ヲ大昔ノ純粹ナーツノ種ニ還元サセルト云フニハ、今後何十年ヲ要スルノカ、何百年ヲ要スルノカ、分ラナイ、サウスルトドウモ雜種ノ血デアリマスカラ、雜種ノ血トスルトソレヲ此處ニ一蛾別飼育ヨリ、御熱心ニオヤリニナシテ見タ所ガ、矢張結果ヲ言ヘバ、粒別飼育ヲナシテハナイカト思フ、一蛾毎ニ三四百粒ナリニ區別シテ取捨ヲナシテモ、其中ニ既ニ祖先傳來ニ混血シタ其血ガ何處カニ動イテ行グノデアルカラ、サウスレバ矢張リ一蛾別飼育ト云フモノハ、トドノ詰リ嚴正ナル意味カラ言ヘバ、粒別飼育ヲシナケレバナラヌト云フコトニナルカモ知レナイ、又一粒別ノ飼育ニシタ所ガ、其一粒ノ中ニ何十代何百代ト傳ツタ混血ガアッテ出來テ居リマスカラ、サウスレバ矢張リ一蛾別飼育ト分ノ力ガ強クナッテ來ルト、矢張リ子ノ時代ノ繭モ孫ノ代ノ繭モ、曾孫ノ代ノ繭モ、皆一粒別ニ飼育シテモ違ツテ來ル 左様ニシテ完全セシメテドレダケノ利益ガアルカト云フ

ト、私ハ混血シテ來ル所ノ結果、ヨリ良クナリシモノガ優勝シテ行ク、其優勝シテ行クヤツヲ段々ニ種ニシテ行ク方が、私ハ動物進化ノ理ニ考ヘテ當然ト思フ、サウスルト私ノ信

トシテ純粹ノ培養ハ結局一面ニハ良イ點モアル代リ、一面ニハ又之ト反對ニ惡イ點モ出ズル所デハ一蛾別飼育ハドウモワソニ御力ヲ入レテナサル程ノモノデハアルマイト思フ、

是ハ唯、自分ノ愚見ヲ申上ゲテ、サウシテ一應簡單ナ御説明ヲ承リタ

○政府委員(芳賀權四郎君) 御答ヲ致シマス、降旗君ノ仰シヤル通リ生物ノ原理トシテ純粹ノ培養ハ結局一面ニハ良イ點モアル代リ、一面ニハ又之ト反對ニ惡イ點モ出来ルト云フコトハ、是ハ吾ミモ了解シテ居リマス、併シ唯今降旗サンノ御考ノ通り純粹的純粹種ヲ選ビ出スト云フ考デハアリマセヌ、實際上ニ必要ナル程度ノ純血ヲ求ムレバ宜イノデアリマシテ、何百年何十年ノ昔ノ先祖カラ傳ツテ來タ固定ニ近イモノヲヨラ純粹種ト吾ミハ見ヤウト思フ、併ナガラソレハ元ト數種類ガ合シテ居リマスカラ、學問上カラ申シマスレバ純粹種デハナリカモ知レマセヌガ、實業上カラ申シマスト、サウ云フ絕對ヲ期スル必要ハナイト考ヘマス、唯、之ヲ飼育シテ、其中カラ黃イ繭ガ出ル白イ繭ガ出ルト云フコトハ、實際ニ不都合デスカラ、實際ニ差支ナイ純血程度ニスルト云フコトノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、ソレデ實ハ第十一條ニモ取除ヲ設ケテ居リマス、外國カラ入レテ一蛾別飼育ノ出來ヌモノハヤラヌデ宜シイ、農商務大臣ノ指定シタモノハ一蛾別ヲスルニ及バスト云フノデアリマス、是ハ今日蠶絲試驗所府縣ノ原蠶種製造所ニ元種ヲ造ツテ配付シテ居リマスガ、一代雜種ノ元種トシテ配付シテ居ルモノニ付テモ、學問上カラ言ヘバ、未ダ純粹種トハ言ヘナシ、併シ其モノヲ掛合セテ一代雜種ヲ造リマスト、非常ニ美事ナモノガ出來ルコトハ事實デアリマス、而シテ蠶業試驗所或ハ府縣原蠶種製造所が今日一蛾別飼育ヲシテ、其モノ、中カラ種々ナモノガ出テ來ナイト云フコトヲ確メテ、ソレヲ先ツ純粹種ト認メテ一代雜種ノ元種トシテ配付シテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フモノニ對シテハ當業者ガ更ニ一蛾別飼育ヲスル必要ガナノデアリマス、又一蛾別ヲスル必要ハ絕對的純粹種ヲ選ビ出サンガ爲デハナクシテ、實業上差支ナイ程度ノモノニ満足スル次第アリマスカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○降旗元太郎君 私ニハ今ノ御答辯ハ了解シ兼ネマスガ、サウスルト之ニ付テ私ハ議論ヲスルノデハナイガ、芳賀サンノ最後ノ御話ハ純粹種ニ復舊セシムル目的デハナクシテ、當業者ニ甚シキ惡イモノヲ除クト云フ實業上差支ナイモノニスル爲ニ、一蛾別飼育ヲスルト云フ意味ト了解シテ宜イノデスカ

○政府委員(芳賀權四郎君) 意味ハ大要左様デアリマス

○降旗元太郎君 サウスルト隨分今日マデ混血シテ來タモノ、中ニハ、隨分酷イ繭造ル蛾モ御坐イマスカラ、政府ノナサレ方ハ御尤ナコト、思ヒマス、更ニ御尋ネシタイノハ、今配付ヲ受ケタ書類ハ未ダ讀ミマセヌカラ知リマセヌガ、當業者ガ此頃斯ウ云フ事ヲ言シテ居ル、此意味ハ施行細則ニ於テ一蛾別飼育ノ除外例トシテ濟ムベク指定セラレタル蠶種ハ是レノ場合ニ於テ品種及系統優良ニシテ、且検査ノ成績無毒ナルコトヲ條件トシテ、其指定權ヲ地方長官ニ委任セラレタイ、其譯ハ是レノ場合ニ於テハ之が其地方ニ於テ原蠶種缺乏ノ虞アルトキ、第一が詰リ特ニ優良種ヲ不圖發見シタルトキ、斯ウ云フ場合ハ一蛾別飼育ノ除外例トシテ地方長官ニ委任ヲナサルト云フコトハ、此施行細則ニアリマスカ否ヤト云フコトデアリマス

○政府委員（芳賀權四郎君） 唯今マデハサウ云フコトハ想像シテ居リマセバ

○降旗元太郎君 サウスルト是レ以上ハ意見トシテ後ニ申述ベルコトニシテ、サウシテ一
蛾別飼育ニ付テ私ハ色ニ考ヘテ居ルコトガアリマスケレドモ、夫レ等ノ御尋ハ時間ノミ徒
ラニ費シテ、サウシテ議論ニナル虞ガアリマス、サウシテ此場合ニ於テハ外國種ヲ日本ヘ
輸入スルコトノ急要ナルコトハ、モウ當業者ガ一人デモ異存ノナイコトデアツテ、政府モ
云フ必要ガアリマセヌカラ、私ハ小異ト云フ、チトバカリ其目前ノ當業者ニ大ナル差障
リノアルコトヲ御改メラッタ此蠶種法ヲ通スノニ、色ニナ意見ノ違フコトヲ議論ナドラシ
テ居ラテハ宜クナイト思ヒマスカラ、ソレデ質問モ私ハ此位デヤマス、而シテ意見ヲ述ベル
時ニ——關稅ノ問題モ御坐イマス、色ニアリマスカラ、意見ヲ述ベル時ニ……
○若尾幾造君 一寸政府委員ニ伺ヒマス、十九條ノ御改正ノ中ニ「蠶絲類ノ検査」
トアリマス、是ハドウ云フコトヲ検査ナサルノデスカ
○政府委員（芳賀權四郎君） 是ハ或ル地方ニ限ツタ一ツノ弊害デ御坐イマス、ソレハ
此間モ一寸申上ゲタ考ヘテ居リマスガ、輸出向ノ織物ノ生産地ニ於テ取引セラル、
蠶絲ニ往々アル、ソレハ生絲ニ不正ノ加重ラスルノアリマス、例ヘバ水ヲ澤山附ケルト
カ、或ハ糖蜜ヲ附ケルトカ、或ハ鹽水ヲ附ケルト云フヤウナコトデ、生絲ニ他ノ物質ヲ以
テ重ミラ附ケルコトが流行ルノデ、是ハ多年ノ問題デアリマシテ、其地方デハ非常ニ機業家
モ迷惑シテ居リマス、又知事ナドモ再三本省ニドウカシテ貨ヒタイト云フコトヲ申シ出ラ
レテ居ルノデ、此規定ヲ差加ヘタ譯デ、之レハ検査ヲシテ見ナケルバ、果シテ不正ノ加重
ガシテアルヤ否ヤト云フコトハ肉眼デハ分リマセヌ故ニ、強制的検査ヲ爲ス途ヲ開ケタ譯
デアリマス

○若尾幾造君 モウ一應、サウスルト政府ノ御精神ハ各地方ニ於テ検査所ト云フモノ
ヲ御設ケニナルト云フ御意見デアリマスカ

○政府委員（芳賀權四郎君） サウ云フ考ハ政府ハ持ツテ居リマセヌ、現ニ一二ノ地方
デハ生絲検査所ハ設置シテアル、品位ノ検査モ量目ノ検査モ致シテ居ル、併ナガラ其檢
査ガ皆希望検査デアリマス、強制的ノ検査が今日行ハレテ居ラヌ爲ニ、唯今申シタヤウ
ナ不正ノ行爲ヲ發見スルニハ、ドウシテモ検査ヲシナケレバナラズ、其検査ヲ嫌ガルモノヲ
ドウシテモ検査ヲスルト云フコトハ何カ根據ガナケレバ出來ナイモノデアリマスカラ、其根
據ヲ法律ニ置ク必要ヲ認メマシタ譯デアリマス
○若尾幾造君 然ル場合ニハ主モニ國用ニ適用爲サルト、斯ウ云フ譯デアリマスカ
○政府委員（芳賀權四郎君） 將來ハドウナルカ分リマセヌガ、唯今ノ所デハ 主トシテ
國用ノ場合デアリマス

○隅田豊吉君 先刻降旗委員ヨリ御尋シテ芳賀政府委員ノ答辯中ニ在リマシタガ、
尙ホ一應極メテ緊要ナル所ノコトデ御坐イマスルノデ、御尋ヲ致シテ置ク次第デアリマス
ガ、此一蛾飼育ノコトデアリマス、ソレニ付キマシテノ御答辯ニ依リマスルト、必ズシモ混
血ヲシテ居ラテモ、ソレヲ純粹ニ分離セシムル必要ハナイト云フヤウニ御答辯ニナッタヤウニ

拜承シマスノアリマスガ、サウデアリマスカ

○政府委員（芳賀權四郎君） 私ノ申上ヤウガ惡ルカツタカモ知レヌガ、サウ云フ意味デ
ハナカツタ、百年トカ或ハ千年以前ニハ違ツタ種類ガ混血サレテ居ラタカモ知レナイガ、現
在ニ於テハソレガ殆ド固定ニ近クナツテ居ラテ、最早分離シナイト云フモノハ、假令以前
ハ混血種デアツテモ、現在ハ固定種ト認ムルト、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデ、其位ノ程
度ニ於テ満足ラスルノアツテ、數千年前ニ混血種ダカラト言フテ、其數千年ノ昔ニ溯
テ詮議立ハシナイト、斯ウ云フコトヲ申シタノアリマス
○隅田豊吉君 實例ヲ舉ゲテ御尋ヲ致シマスガ、今此白蠶種ニ於キマシテ、極メテ交
配種トシテ主モニ用井ラレテ居ル所ノ一ツハ支那種、一ツハ日本種ノ赤熟、交配ニ優
良ナルモノアリマス、其赤熟ト云フモノハ現在ニ於テ既ニ多少混血シテ居ルモノデアラ
ウト私ハ承知シテ居リマス、芳賀政府委員ニ於カレマシテハ、數千年以前ナド、云フ形
容詞ヲ用井ラレテアリマスルガ、私共ハ此現在ノ專ラ使用サレテ居ル所ノ赤熟ナルモノト、
少クトモ明治初年間ニ流行致シテ居ル所ノ赤熟ト云フモノトハ、形狀ニ於テモ其他各
種ノ點ニ於テモ、大ナル相違ガアラウト思シテ居リマス、デソレ等モ矢張リ分離スルモノト
純粹ノモノト區別サレテ検査スル意味デアリマスカ、其點ニ於テモ御尋シテ置キマス
○政府委員（芳賀權四郎君） 千年トカ何百年トカ百年トカ前デナクテモ、數年前デ
葉ヲ借リテ申上ゲタンデアリマスガ、必ズシモ千年トカ百年トカ前デナクテモ、數年前デ
アツテモソレガ或ル程度マテ固定ヲシテ分離ラシナイト云フモノデアレハ、是ハ假リニ純粹
種ト認ムル、斯ウ云フ譯デアリマス、唯今例ニ御引キニナリマシタ赤熟ノ如キモ、ソレハ色
色ノ血が混ツテ居ルカ知リマセヌガ、併ナガラソレガ實際上ニ差支ナイ程度ニ於テ固シテ居
リマスレバ、是ハ固定種ト認ムルト、斯ウ云フ考デアリマス
○工藤善助君 私モ此第十條ノ一蛾飼育ノ事ニ付テ一應伺ツテ置キタイ、先刻降旗
君ヨリノ質問應答ニ於テ略御趣意ハ分ヅテ居ルデアリマスガ、經驗ガアルト申シテモ、
ガラ吾ニモ間接ニ之ヲ色ニ一蛾飼育ヲ致シテ關係ヲ持ツテ居ル、今色ニノ種類が混
合ヲ致シテ居ルノヲ大抵ノ程度ニ性質ヲ一致セシムル點ニ於テハ、其純系ニ近イ所ニ選別
致スニハ、一蛾飼育ノ經験ト云フモノハ、蓋シ我國デハ未ダ日ノ淺イ事デアラウト思フノデ、去リナ
トハ思フテ居リマスケレドモ、然リナガラ茲ニ憂慮致シテ居ルコトハ、一蛾飼育ト云フモノハ一
年飼育ヲ致シテ居ル所ヘ參ツテ見ルト、此位ノ小サナモノニ區分シテ居ル譯デ御坐イマスカ
ラ、給桑ノ程度等ハ嚴格ニヤリマシテモ、恰度二行ツテ居ナイ、甲ノ區域ト乙ノ區域ハ一方ニ
桑が多クテ、一方ニ少ナイト云フ實例ハ澤山アル、斯様ナ工合デ、夫カラ蠶ト云フモ矢張リ
人モサウ云フヤウニ思ヒマスガ、密接ニ飼ハレテ、サウシテ競爭シテ桑ヲ食フト云フノガ、矢
張リ一面ハ虫ノ強壯ニ成ル原因ニナル唯一匹カ一匹自由ニ桑ヘ附ケテヤリマシテモ、ソレ
ハ甚シク繭ノ形状ヲ崩シテシマツテ、幾ト種繭トスルコトノ出來ナイヤウナモノが出來ル類ガ
澤山アリマス、ソレニ総シ心配致シタ結果ハ、却テ虛弱ノ蠶兒ヲ拘ヘルト云フ結果ニ陥ルノ
憂ガアルノデ、故ニ此末項ニ「主務大臣ノ指定シタルモノハ此限リニアラス」ト云フコトハ

御規定ニナツタト云フヤウニ御話ガアツタガ、先刻降旗サンヘノ御答ノ言葉ヲ聞イテ居リマシテモ、試驗場若クハ學校ニ於テ飼育シタルモノハ、即チ固定種ト先ツ見テ入レヌ、斯カラソレハ一蛾飼育ナクシテモ宜シト云フヤウナ範圍迄農商務大臣ノ指定シタルモノハ此限りニアラズト云フ内ニ加ヘル御考慮ガアリマスカ否ヤ、先ツ此處が五年ヤ十年間ハ試驗場ヤ學校デヤタモノ、外ニハ、此取除ノ條項ハ用井ベキ意志ガナイト云フ御考アルト、是ハ良イ結果ヲ見ナイト、ドウモ憂慮ニ堪ヘナシ此質問ヲシタノハ、此法律中ノ一番骨子トナリマスモノハ此十條デアリマス、之ヲ一應伺ヒタイ、モウ一ツハ外國種ヲ輸入シタルモノハ、矢張リ此歩合ヲ検査スルト云フコトニナツテ居リマス、是ガ若シ無毒ノ場合トカ若クハ伊太利佛蘭西ノ検査所ナドテ證明致シタルモノデアルトカ、何レニシテモコチラヘ持ツテ參ツテ種屋ニ原種トシテ御許シニナル運ガ開カレルデアリマスカ、先刻御配付ニナツタ施行細則ヲマダ通讀致シマセヌカラ私ハ存ジマセヌガ、其邊ヲ伺ヒタイ、夫カラ第十一條ノ検査ト云フモノガ歩合検査ト云フコトニ致スノデアリマスガ、是ハ此法律中ニ又改正ヲ致シタイ意見モアルノデアリマスガ、先ツ此法律ヲ以テ良イトスレバ、歩合検査ト云フコトガアツ、其歩合検査ニハ相當ナ手數料ヲ徵セラル、斯ウ云フコトニナツテ居レバ、初ヨリ歩合検査ヲ受ケズニ、希望検査ヲ受ケルト云フコトガ、要求ニ依ツテハ御許シニナルト云フ御意志テアリマスカ、ソレヲ一寸伺ヒタイ

○政府委員(芳賀權四郎君) 一蛾別ノ飼育ヲ強別スル期間ハ、或ル年限ヲ経テ幾ド固定種ト云ヒ得ル程度ヲ見定が付イタモノニ對シテハ、爾後此モノハ一蛾飼育ヲ強別セザル意志ガアリヤ否ヤト云フ御問デアリマスガ、ソレハ農商務大臣ノ指定スル場合ニサウ云フモノヲ加ヘタイト云フ意志ハ唯今有ツテ居ルノデアリマスガ、併シ何年位ノ後ト云フコトハ、是ハ篤ト研究ヲシナケレバナラヌカラ、尙ホ研究致シマシテ、其途ヲ開キタイト云フ考テ居リマス、夫カラ第二ノ外國蠶種ニ對シテ歩合検査ヲ行フカ、其歩合ハドノ位ノ歩合ニスルカト云フ御尋ニアリマスカ、是ハ

○工藤善助君 歩合ヤナイ、希望検査ニスルコトガ出來ルカ

○政府委員(芳賀權四郎君) ツレハ途ヲ開イテ居リマス、原蠶種ト又ハ普通蠶種トシテ指定スルコトが出來ルコトニナツテ居リマス

○降旗元太郎君 一寸御發言中デアリマスガ、私ハ先程實業家ノ性質ノ良イ種ニ携ヘルト云フコトヲ程度トシテオヤリニナルノデアリマセウカト云フヤウナ、抽象的言葉デ御尋シテ、然リト云フ御答ヲ受ケテ居リマスガ、唯今御回答ヲ承ツテ居リマスト、尙ホ其意味ヲ明白ニシテ置カヌト、私が御尋シテ御答ヲ得タノガ双方別々ナ事デ、双方別々ノ意答ヘタ、斯ウ云フヤウナ事ニナラウト思ヒマスガ、私ノ御尋スル前ニ意味ヲ簡單ニ言ウテ置キマス、此頃日本ノ蠶種界ニ一大改良發達ノ曙光ヲ認メシメタル外國種ノ輸入ト云フ事バ、即チ一代交配種ノ製造ト云フ、是ハ上下内外誰モが日本ノ蠶業ノ改良發達ニ付テ最モ大切ナ事ダト理解シテ居ル筈デアリマス、所ガ是ヲ打碎イテ言ヘバ、外國種日本種ト掛合ハセル、斯ウ云フコトニナル、更ニ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、雜種ヲ日本本

ノ蠶業ノ一大改良發達ノ力アルモノト政府モ當業者モ認メテ居ルト事ナシテス、ソレデスカラ矢張此蠶業改良發達ヲ企圖スルモノハ、或程度マテ雜種ヲ歡迎スルコトハ事實デアル、一面ニ此外國種ノ輸入ハ政府モ亦目下ニ處スル最モ必要ナコト、御シタガ、詰リ取調ヘラ見タラヤハリ固定種ニ近クアツタト云フコトハ、餘程難イコトデアル、若シ大抵ノ程度ニ行クモノナラバ、二年トカ長クトモ三年間ハ一蛾飼育デ行ツタガ、ソレカラソレハ一蛾飼育ナクシテモ宜シト云フヤウナ範圍迄農商務大臣ノ指定シタルモノハ此限りニアラズト云フ内ニ加ヘル御考慮ガアリマスカ否ヤ、先ツ此處が五年ヤ十年間ハ試驗場ヤ學校デヤタモノ、外ニハ、此取除ノ條項ハ用井ベキ意志ガナイト云フ御考アルト、是ハ良イ結果ヲ見ナイト、ドウモ憂慮ニ堪ヘナシ此質問ヲシタノハ、此法律中ノ一番骨子トナリマスモノハ此十條デアリマス、之ヲ一應伺ヒタイ、モウ一ツハ外國種ヲ輸入シタルモノハ、矢張リ此歩合ヲ検査スルト云フコトニナツテ居リマス、是ガ若シ無毒ノ場合トカ若クハ伊太利佛蘭西ノ検査所ナドテ證明致シタルモノデアルトカ、何レニシテモコチラヘ持ツテ參ツテ種屋ニ原種トシテ御許シニナル運ガ開カレルデアリマスカ、先刻御配付ニナツタ施行細則ヲマダ通讀致シマセヌカラ私ハ存ジマセヌガ、其邊ヲ伺ヒタイ、夫カラ第十一條ノ検査ト云フモノガ歩合検査ト云フコトニ致スノデアリマスガ、是ハ此法律中ニ又改正ヲ致シタイ意見モアルノデアリマスガ、先ツ此法律ヲ以テ良イトスレバ、歩合検査ト云フコトガアツ、其歩合検査ニハ相當ナ手數料ヲ徵セラル、斯ウ云フコトニナツテ居レバ、初ヨリ歩合検査ヲ受ケズニ、希望検査ヲ受ケルト云フコトガ、要求ニ依ツテハ御許シニナルト云フ御意志テアリマスカ、ソレヲ一寸伺ヒタイ

○政府委員(芳賀權四郎君) 一蛾別ノ飼育ヲ強別スル期間ハ、或ル年限ヲ経テ幾ド固定種ト云ヒ得ル程度ヲ見定が付イタモノニ對シテハ、爾後此モノハ一蛾飼育ヲ強別セザル意志ガアリヤ否ヤト云フ御問デアリマスガ、ソレハ農商務大臣ノ指定スル場合ニサウ云フモノヲ加ヘタイト云フ意志ハ唯今有ツテ居ルノデアリマスガ、併シ何年位ノ後ト云フコトハ、是ハ篤ト研究ヲシナケレバナラヌカラ、尙ホ研究致シマシテ、其途ヲ開キタイト云フ考テ居リマス、夫カラ第二ノ外國蠶種ニ對シテ歩合検査ヲ行フカ、其歩合ハドノ位ノ歩合ニスルカト云フ御尋ニアリマスカ、是ハ

○工藤善助君 歩合ヤナイ、希望検査ニスルコトガ出來ルカ

○政府委員(芳賀權四郎君) ツレハ途ヲ開イテ居リマス、原蠶種ト又ハ普通蠶種トシテ指定スルコトが出來ルコトニナツテ居リマス

○降旗元太郎君 一寸御發言中デアリマスガ、私ハ先程實業家ノ性質ノ良イ種ニ携ヘルト云フコトヲ程度トシテオヤリニナルノデアリマセウカト云フヤウナ、抽象的言葉デ御尋シテ、然リト云フ御答ヲ受ケテ居リマスガ、唯今御回答ヲ承ツテ居リマスト、尙ホ其意味ヲ明白ニシテ置カヌト、私が御尋シテ御答ヲ得タノガ双方別々ナ事デ、双方別々ノ意答ヘタ、斯ウ云フヤウナ事ニナラウト思ヒマスガ、私ノ御尋スル前ニ意味ヲ簡單ニ言ウテ置キマス、此頃日本ノ蠶種界ニ一大改良發達ノ曙光ヲ認メシメタル外國種ノ輸入ト云フ事バ、即チ一代交配種ノ製造ト云フ、是ハ上下内外誰モが日本ノ蠶業ノ改良發達ニ付テ最モ大切ナ事ダト理解シテ居ル筈デアリマス、所ガ是ヲ打碎イテ言ヘバ、外國種日本種ト掛合ハセル、斯ウ云フコトニナル、更ニ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、雜種ヲ日本本

ノ蠶業ノ一大改良發達ノ力アルモノト政府モ當業者モ認メテ居ルト事ナシテス、ソレデスカラ矢張此蠶業改良發達ヲ企圖スルモノハ、或程度マテ雜種ヲ歡迎スルコトハ事實デアル、一面ニ此外國種ノ輸入ハ政府モ亦目下ニ處スル最モ必要ナコト、御シタガ、詰リ取調ヘラ見タラヤハリ固定種ニ付テ利害孰ケ分ラヌト云フ程分ラヌ人ガアルナラ、之ヲ數字ニ依テ明白ニ示シテモ宜シ、併シ是程分リ切ツタコトヲ時間潰シニ長イ説明ハ要ラスト思ヒマス、其大切ナ外國種ノ輸入ト云フコトハ一代交配種ヲ製造セシガ爲デアツテ、一代交配種ノ製造ト云フコトハ、即チ合ノ子ヲ拵ヘルト云フコトデアル、故ニ日本ニ在來ノ種ノ中テ以テ成ルベク性質ノ違ツタモノヲ交配セシメテ、サウシテ合ノ子ヲ拵ヘテ、此合ノ子ガ有名ナモノデアツテ、ソレデ日本ノ蠶業が今日マデニ改良發達シテ來タモノト言シテ誣言デナイト思ヒマス、故ニ私が實業家ノ實際ト云フ言葉ニ重キヲ置イテ申シマシタノハ、此種ヲ純粹ノ種ニスル、此場合ニ於テ前ノ言葉ヲ繰返シテ言フ必要ガアル、數十年數百年ノ純粹ノ種ニ還元スルト云フ種ナラバ、一蛾飼育ハ害アツテ益ナキモノデアル、是ガ私ノ量見ナノデ御坐イマス、ソコデ一蛾飼育ラスルト云フコトノ目的ハ唯合ノ子デスカラ、ドウセ色ミノ形ノ繭モ出來、色ミ小サイ繭モ出來、一蛾、產ンダ種粒ノ二百粒四百粒ノ中ニハ色ミノモノガアレバ、甲ノ一蛾ノ生シタ卵カラ出タ蠶ノ繭カラハ此通り、乙ハ此通り、乙ハ薄皮繭ガ非常ニ多ク、形ノ色ミ跋ノモノガ多イト云フ、コレハイカナイト云フ、蠶ノ種、蠶ニナルオケノ資格ノナイモノハ落第點ヲ之ニ附スルト云フ意味ガ實業家ノ實際ノ問題デアル、若シ此一蛾別飼育ト云フモノ、合ノ子ガ多イト云フ、コテ來タカラ、ソレダカラ之ヲ固定ノ或一種ノ種ニ還元セセヤウト云フ意味ガ加ハツタ云ヘバ、是ハ絕對ニ私ハ反對デアル、反對ノ意見ヲ此處ニ申述ベルノデハアリマセヌガ、左様ニ考ヘテ居ル、尙一步ヲ進メテ私ノ申ス意味ヲ明ニスルナラバ、斯ウ云フ一ノ例デモ明ニナル、御承知ノ春蠶種小石丸ト秋蠶種ノ小石丸ト云フモノガアル、春蠶種ノ小石丸ト秋蠶種ノ小石丸ト云フモノハ、繭ノ形ニ於テモ絕對ニ違フモノヲ小石丸ト命名シテ居ル、故ニ若シ此固定セル種ト云ヘバ、今ノ検査所ノ吏員ノ如キハ、名稱ニ直ニ著目シテ小石丸ニ著目スル、サウナルト云フト、是ハ小石丸デナイ、斯ウ云フヤウナコトヲヤッテ往クト、實業ノ實際ニ立入レバ非常ナ混雜ヲ惹起ス、斯ウ云フコトモノ例トシテアリマス、併シソレヨモ私ハ迦ツテ數百年前ノ純粹ノ或一種類ニ還元セルト云フ氣分ガ若シ居ルナラバ、ソレガ除外例トシテ、ハナイ、ソレヨリ更ニ數百年前ノ小石丸ニ還元スルト云フ氣分カラ御割出シニナツタナラバ、今日日本全國ヲ通ジテサウ云フコトヲ御認メニナツテ居ラヌ、外國種ヲ輸入シテ一代交配種ヲ作ルコト、正反對ノコトヲ御遣リニナルコトニナルノデ、私ハ此處ニ色ミノ統計等モ持參シテ居リマスケレドモ、數百年前ノ春蠶ノ小石丸ニ還元スルト云フ氣分カラ御割出シニナツタナラバ、今日日本全國ヲ通ジテサウ云フコトヲ御認メニナツテ居ラヌ、外國種ヲ製造スルコトヲ私ハ私ガ確信スルバカリデナク、上下ヲ通シテ天下ノ通論デアル、ソザルモノガアルト云フコトハ私ガ確信スルバカリデナク、上下ヲ通シテ天下ノ通論デアル、ソレカラ此合ノ子ヲ作ルコト、丸デ反對ノ意味デアルカラ、ソレハ大變ナコトニナルノデアリマスカラ、此點ヲ唯今御問答ニナツテ居ルノヲ承ルト、何ダカ混線シテ來タヤウニナリマスカラ、私ハ實業家ノ實際ノト云フ抽象的言葉デ申シマシタケレドモ、ソレハ今ノ固定

セル或ル一種類ニ統一スルト云フ意味デアリマセヌ、誰が見テモ明白ナ薄皮繭、明白ナ畸形ノ繭ト云フモノヲ澤山ニ拵ヘテ居ル、其一蛾別ノ範圍ニ於テ飼育サレタト云フ意味カラシテ、實業家ノ實際ヲ排斥ナサルナラ、先刻ハ抽象的ナ言葉デ申シマシタケレドモ了解シタカラツレダカラ一切質問ハ止メマスト申シマシタケレドモ、ドウヤラ固定ノ種類ニ標準ヲ御置キニナルガ如クニ、唯今承ルベキ言葉が御坐イマスカラ、ソレザヤ大變ト思ヒマズ、其點ニ付テ更ニ明白ニ御答ヲ受ケテ置キタウ御坐イマズ

○政府委員(芳賀權四郎君) 大變ヨンガラガシタヤウデスガ、例ヲ引イテ御話申シマスレバ、例ヘバ茲ニ甲ト云フ種類ト乙ト云フ種類ガアッタシテ、此種類ヲ原種ニ供スル場合三足が固定セザル種類ニアレハ親ノ性質モ出テ來レバ先祖ノ性質モ出テ來ル、又固定シテ居ル種類ト假定シマスト、是等ヲ一蛾飼育ヲスレバ是ガ分離ラスル種類ナルカドウカト云フコトハ明白ニ分ル、サウスルト分離スルモノハ原種ニ供用サレナイカラ廢棄スル一方ノ種類ハドウカト云フベ一蛾別飼育ヲシタガ一蛾ノ中ニ少シモ混リガナ、又其一蛾ヲ他ノモノト比較シテ能ク揃ツテ居ル、斯ウ云フモノハ先ヅ之ヲ純粹種ト見テ、是ハ原種ヲ造ルニ適當ナモノトシテ合格サセル、何故ニ斯ウ云フ純粹種ニシナケレバナラヌカト申シマスト、唯今御話ノ通り甲ト乙トヲ掛ケ合シテ第三者タル、雜種ヲ造リマシテモ、是ガ純粹種ニアラズシテ是ハ普通ノ雜種ニナツテシマウノデアリマス、サウスルト此雜種ナルモノニハ色ミナ性質ヲ帶ビタ繭が出来ル、白イ繭モ黃色イ繭モ出テ來ル、中間ノモノモ出テ來マスガ、今日政府が獎勵シテ居リマス一代雜種ナルモノハ純粹種ト純粹種ヲ掛ケ合シタモノカラ出來タ其繭が兩親ノ何レヨリ立派テ、サウシテソレガ能ク一定シテ居リマスカラアリマス、所が此一代雜種ノ基トナルベキ兩親が固定シテ居ラスト是カラハ色ミナ化物ガ此處へ出テ來ル、是ハ排斥シナケレバナラヌ、ソレニハ此基トナルベキ原蠶種ハ分離ヲシナイ程度ノモノニナツテ居ルカドウカヲ見ル必要ガアル夫レニハ一蛾別飼育ヲスルヨリ外致シ方ガナイ、ソシテ之ヲ學問上カラ云フ絶對ノ純粹種ニスルコトハ、素ヨリ希望スル所デアルガ今ノ所デハ到底不可能ノコトデアリマスカラ、實用上差支ナイ程度ニ固定シタモノナラバ、之ヲ純粹種ト取敢ス認メテ之ヲ原蠶種ニ供用セシムルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○降旗元太郎君 是ハ芳賀君ノ御話ハ當業者ニ取シテハ一面、眞理ガアルト思ヒマスガ、他ノ一面ニハ法律ヲ拘ヘニ就アハ無理ナ御注文、ダト思ヒマス、芳賀君ノ言フ通りニハ出來ナイ、私モ例ヲ舉ゲテ言ヘバ、是ハ私嫌味ヲ言フノデモ何デモナイケレドモ、秋蠶種ヲ製造シ始メタ明治二十年前後ニ於テハ、農商務省ノミニラズ、學者モ皆之ヲ反對ヲシタノデスカラ、是ハ嫌味ヲ言フノデハアリマセヌ、反對ヲサレタガ、今日秋蠶種ノ國家ノ實用ニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りアルシ、此秋蠶種ヲ今日ニ至ラシムルマデニハ、不肖ナガラ私モ關係ガアリマスケレドモ、是ハ混血兒ヲ拘ヘ、混血兒ヲ拘ヘテ來テ今日アルヲ致シテ居ル、今日秋蠶種ガ春蠶種ト並ヒテ天下ノ實用ニ供セラレテ居ル、其秋蠶種ノ今日アルヲ致シタ基ヲ尋ヌレバ、混血兒ニ混血兒ヲ拘ヘテ、未ダ之ヲ或ル固定セル種類ニサレテシマツタノデハ改惡ヲスルト云フ結果ニナル、ソレデスカラ其唯今芳賀君ノ御説明ニナリシ半面ニ於アハ、成程歐羅巴種ト日本ノ種ヲ交尾サセテ、サウシテ其跡ヘ白イ繭が出來テ來ル、黃イ繭が出來テ來ルト云フホド極端ナ混血兒ヲ日本ノ原種ニ

シタナラバ、原繭ニシタナラバソレハ宜ウ御坐イマセウ、此點ニ就テハ芳賀君ノ御説明ハ眞理ガアルト思フ、併ナガラソシナ滅茶苦茶ノモノデナクテ、詰リ云フト所謂混血兒ニ勝手次第ニシタノト、日本種ノ双方優良ナモノ選ンテ結婚サセテ、ソレデ混血兒が出來タノトハ、天地雲泥ノ違ヒガアリマス、芳賀君ノ今例ニ引カレタ白イ繭モ黄イ繭モ飛出スト云フヤツハ、是ハ詰ラヌモノ同志が詰ラヌ手續ニ依テ混血兒ノ出來タ奴デアル、種屋ガ日本ノ種ノ中ノ一生懸命ニナツテ優良ナルモノト優良ナルモノト結婚サセテ拘ヘタ混血兒トハ、天地雲泥ノ相違ガアル、然ルニ半面ニ於テ芳賀君ノ説明ノイケナイト私ノ言フタノハ、芳賀君ノ言フ言葉デ言ヘバ、サウスレバ此粗惡ナルモノ白デモ黃色イノデモ飛出スヤウナ粗惡ナルモノガ矢張リ同シヤウニ優良ナルモノトノ異ナル種類ヲ結婚サセテ出來タ混血兒ヲ取締ル規則ニナツテシマウ、ソシナコトヲサレタ日ニハ秋蠶種ナドハ前途ドウナルノデスカ、是ハ芳賀君モ御承知ノコトデアル、ソレデ成程私ハ此處デ又新ニ御尋ブシテ宜カツタト思フノハ、實業家ノ實際カラ云ヘバ、サウ固定ノ種類ト云フコトニ重キヲ御措キニナラヌノガ、實業家ヲシテ實際ニ糸屋ヘ高ク賣レル、貞イ繭ヲ拘ヘルト云フコトニナル、私が實業家ノ實際ト云フ抽象的ノ言葉ニ重キヲ措イタノハ、糸屋ニ高ク賣レル繭が出來レバ、ソレガ實業家ノ實際ニ於テ改良サレタモノデアルト云フノデアル、此處ヘ眼ヲ御著ケニナルナラバ宜シイケレドモ、此處ヘ眼ヲ御著ケニナルト同時ニ、固定セル種類ト云フコトヲ仰シャルト云フト、サウスルト私ノ考ト正反對ニナリマスカラ此點ハ能ク念ラ押シテ伺ツテ置キタイ

○政府委員(芳賀權四郎君) モウ少シ申上ゲテ置キマスガ、唯今降旗サンハ從來日本ノ夏秋蠶其他ノ良イモノハ在來種ノ中ニ達ツタモノヲ掛合セテ、殆ド雜種ニナツテ居ル、ソレデ今日良イモノガ澤山出來テ居ルノデアル、斯ウ云フ御説デアリマスガ、ソレハ其通りダト思ヒマス、ソレカラ一度達ツタ種類ヲ掛合シタモノノ複製シマスルト、御承知ノ通り「メンテリズム」ノ法則ニ依テ次年カラ割レテ行クノデアル、割レルモノヲ原種ニスルト其雜種ガ色ミナモノニナル、今假リニ茲ニAトBト云フ夫婦ガアルトシテ其ノAナルモノガCDト云フモノ、雜種デ尙固定セザルモノデアレバ、ソレデハ面白クナイガ、是が純粹AトBト云フモノデアレバ、此所ヘ出來タモノハAトBト中間ノモノデ、一定ノ繭が出來ル、所が是ガ純粹ノAトBノ雜種ニアラズシテAハCトDノ掛合セデアルトスルト、斯ウ云フモノヲ掛合セニシテ、養蠶家ノ飼フベキ雜種ヲ造ルト、是ハ割レテ來ル、是レハ「メンテリズム」ノ法則ニ依テサウナルノデアリマス、ソシテ一代雜種ハ最モ良イノデアル、ソレデスカラ政府モ此ノ雜種デ良イモノヲ造ルコトヲ攻究シャウト云フ考デヤツテ居ル、唯、其基礎ヲ或ル程度マデ純粹ノモノデナイト、ソレノ掛合セテ出來タ雜種ガ妙ナモノニナルカラ、是ハ或ル程度マデ純粹ニ近イ、先づ固定種ト言ヒ得ル程度ノモノニ原種ヲ致シタイ、斯ウ云フ考デ居リマス、ソレカラモウ一ツ掛合セフシタモノヲ原種ニ供用セシムルト云フヤウニ御聽取ニナリマシタガ、是ハマダ申上ゲナカツタノデスガ、一代雜種ヲ原蠶種ニ供用スルノ途モ開ケル考ヲ有シテ居ル、是ハ或ル種類ニ依テAトBト掛合セタ一代雜種ニCヲ更ニ掛ケルト、是ハ出來タ一代雜種ヨリハ更ニ進シ立派ナモノが出來ルト云フ場合モアル、ソレハ今度農商務大臣ノ指定スペキモノノ中ニハ一代雜種ヲ原種ニ爲シ得ル途モ開ケル考デアリマス、此モノハ最早AトBト掛合セタモノデアルカラ、是ハ一蛾飼育ト

スル必要ガナイ、斯ウ云フ譯デアリマス

○降旗元太郎君 唯今ノ御話デ政府ノ御意見ハ能ク分シテ居リマスガ、是ハ實際ニ就テ芳賀サンニ考ヘテ頂キタイ、成程一代交配種ヲ拵ヘルモノナラバ、今仰シヤル通リAトBトC-Dト斯ウ巧ミニ雜種ガ出來テ居ル、斯ウ云フコトニナリマスガ、若シ一一種類三種類五種類十種類デモ色ニ掛合セテ拵ヘテ來タモノガ、決シテ此跡ヘ兩方ハ出ナイ、強テ別テハ之ヲ三分四分六分モシテ行クノデス、ソレデスカラ一蛾ノ產卵シテ取ツタ繭ハ決シテ一一種類ヤニ三種類ニ區分スルコトハ出來ナイ、凡ソノ種類ヲ四分シ分類スルナラバ出来マセウガ、正確ナル標準ニ依テヤッタナラバ、之ガ三百粒モ四百粒モ悉ク別デアル、其中ニ若シ強ヒテ似寄ツタモノガアルトスレバ、七粒カ八粒似寄ツタモノガアル——似寄ツタモノデハアリマセヌ、揃ツタモノガ七粒ヤ八粒ハアルケレドモ、此三百粒四百粒ト云フモノハ悉ク百粒揃ツタモノトシテ、三ツニ分ケルナドト云フコトハ絕對ニ出來ナイ、ソコヘ行ケバ比較的春蠶ノ方が其分類が容易イテス、秋蠶ニ至ツテハ左様ナコトハ絕對ニ出來ナイ、ソレデ今ノ固定ノ種類ト云フコトニ餘リ重ヲ御置キニナルト云フト、之ヲ實際ニ取扱フ検査所ノ吏員ト云フモノガ、或ハ一蛾別ニ飼育セシメタル二十八蛾ノ中テ以テ、二十五ハ絲繭ニセヨト云シテ廢棄スルカモ知レヌ、ソレが實際ノ實業家ニ首肯セシムル途デハナイ、矢張固元來言フト養蠶家ハ絲屋ガ高ク買ツテ吳レル繭が出來サヘスレバソレデ宜イ、ソレヲ今ノ固定ノ種類ト云フコトニ重ヲ置カレルト云アト、反對ニ大部分ハ絲繭ヲ除却サレテ、種ヲ造ルコトが出來ナイ、而シテ種ヲ造ル者モ實驗ニ依ツテ其種ヲ高ク買ツコトが出來ナイ、何トナレバ己レガ造ツタ繭ヲ絲屋ガ高ク買ツテ吳レナカト云フ結果ニ陷ルダラウト思ヒマス、是ハ長イ間混血兒ニ混血兒ヲ拵ヘテ來タ日本ノ種屋ノ立前カラ云フト、最モ重大ナ考ヲ持ツテ居ル、學理上今芳賀君ノ言ハレルコトヲ私ハ非難スルノデハアリマセヌケレドモ、現在ノ實情ガ芳賀君ノ置ク基礎ト基礎ガ違フドウシテモ現在ノ發足點が混血兒ニ混血兒ヲ重ネテ來タル現況ヲ基礎ニシテ、是カラ發足シテヤラナケレバナラヌノデスカラ、ソレデスカラドウシテモ若シ固定セル種類ト云フコトニ重ヲ置カル、ノデアルナラバ、私ハ是ハ重大ナル問題ト思

○政府委員(芳賀權四郎君) 此固定ト云フコトハ、是ハ程度問題デアリマシテ、先

程カラ私モ學術上絶對ノ固定ト云フコトハ申上ゲテ居ラヌ、ソレデ唯今御話ニ依リマス

ト、日本ノ種類ハ之迄ニモウ幾種類モ幾種類モ合シテ居ルカラ——其中カラ化物見タ

ヤウナモノガ色ニ出ルト、斯ウ云フコトヲ御認定ニナシテ居ル、サウ云フ割レルモノデアリマスルト云アト、ソレヲ掛合セルモノガ澤山アル、サウナルト必ズ分離スレハ黃色イ繭モ出テ來ル、白イ繭ヲ掛合セルモノガ澤山アル、サウナルト必ズ分離スレハ黃色イ繭モ出テ來ル、白イ繭モ出テ來ルコトハ當前ノコトデアリマス、サウ云フモノハ滅茶苦茶ニナル、是ハ成程在來種ハ白繭バカリデアリマスカラ、一寸分ラスカラモ知レマセヌケレドモ、今後ハ黃色イ繭ト色イ繭モ出來白イ繭モ出ルト云フタナラバ、是ハ決シテ製絲家ハ其繭ヲ高ク買ハナイ、ソレデスカラ養蠶家ノ飼ベキ種ハ一定ノ繭ヲ作ルベキ種ヲ供給シタイ、斯ウ云フノガ政府ノ方針デアリマス、ソレニハ少シ手數ハ面倒デアリマスケレドモ、其親ハ或ル程度マテ純粹即チ固定ニ近イモノヲ御互ニ掛合セナイト云アト、ソレカラ出來タ所ノ雜種ナルモノハ分

○降旗元太郎君 芳賀サンノ今言ハレル意味ハ、私ニ分シテ居マス——分シテ居マスケレドモ、芳賀サンハ此養蠶家ノ所モ能ク歩イテ居ルシ、種屋モ能ク歩イテ居ルカラ能ク知ツテ居ルダラウト思ヒマスケレドモ、是ハ道家サンヤ上山サンニ至レバ法文ヲ正式ニ御解釋ニナシテ、初メカラ御出デニナル筈デアル、ソコデスカラ自分ノ心ノ中テ同シ今芳賀サンガ私ニ説明サレタ言葉デモ、私ノ方ニハ成程ソコニハ實業家ノ實際ヲ了解シテ居ツテ言フノナラバ差支ナイント云フ程度ニマテ私ハ思ヒマスケレドモ、速記録ヲ見タリ、芳賀サンノ答辯ト云フモノヲ次官ヤ局長が御覽ニナレバ——マア此處ニ聽イテ御出デニナルノデスケレドモ、速記録デ御覽ニナルノモ聽イテ御出デニナルノモ同シコトデアリマスガ、矢張固定セル種類ト云フ言葉ニ重ヲ置カレル筈デアル、置カレネバナラヌ、サウスルトアレ程入込ニデ居ル雜種ノ種ヲ固定セル一種類ニ還元シテ行クニハ、是ハ芳賀サンダシテ能ク能ク御分リニナシテ居ルガ、大分元ヘ戻ツテ行カナケレバナラヌ、サウシテ此處ニ一十八蛾ヲ飼育シテ、一蛾別ニ二十八枚、之ヲ一十八蛾ヲ飼育シテ行クト云フヤウナ手數ヲシテ居ルト、切角飼上ケテ繭が出來タ、是ハ良イ繭、絲屋ヘ賣レバ一番高ク賣レル繭ダ、ケレドモ併ナガラ此中ニハ色ミナ種類アルカラ、是ハモウ廢棄ダ、種ヲ作ルコトハナラヌ、絲繭ニシテ仕舞ヘト云フ、斯ウ云ツテ検査所ノ吏員が排斥シテ仕舞シテ、到頭サウ排斥サレルト、比較的劣シテ居ルモノ——劣シテ居ルケレドモ、成程粒ガ揃ツテ居ルカラ、是ハ一種類ト見テ及第サス、劣シタ繭、是ハ絲屋ヘ賣レバ絲屋ハ廢棄サレタル繭ヨリズット廉クナケレバ賣ハナイ程ノ粗末ナ繭デモ、是固定セル種類相應ナ繭カラ、之ガ及第スル、斯ンナコトヲ必ズシテ來ル、是ハ百ガ百過チナキ觀察デス、豫言デス、豫斷シテ差支ナインコトデアル、ソンナコトヲサレタ日ニハ、良イ種ヲ得ルベキ繭ヲ包藏シテ居ルモノヲ絲繭ヘ賣ツテ仕舞シテ、サウシテ唯形ニ於テ種類が比較的統一サレテ居ルカラト云フテ、比較的虛弱ナ蛾ヲ藏シテ居ル繭が種繭ニナルト云ア、斯ウ云フヤウナコトヲ屹度検査所ノ吏員がスルデス、ソレ故ニ私ハ先刻芳賀サンが成程能ク了解シテ居ラレル筈デアルカラ、一人デ全国ノ繭ヲ選分ケラナサルナラ宜シイケレドモ、ソレハサウハイキマセヌゾ、ソレダカラ懸念ガアル、ソレヲ根據リ葉掘リ極ノ極マバ私ハ之ニ就テ問フノデアル

○政府委員(芳賀權四郎君) 此検査ノ程度ハ別ニ施行手續ニ規定スル考デアリマスカラハ、ドウ云フモノが合格サレル、ドウ云フモノハ不合格ニスルト云フコトノ限界ハ、明ニ立て、ヤリマシテ、今ノヤウナ製絲家ガ排斥スルモノハ、縱令揃ツテ居ツテモ決シテソレハ合格サセマセス、ソレハ取扱手續ニ規定スル考デアリマスカラ、ドウゾ左様御了承ヲ願ヒマス

○降旗元太郎君 唯今ノ御言葉ヲ尙ホ私ガ入念ニ質問ヲ重ネル所以ハデス、製絲家ガ排斥スル程ノ繭デアルナラバ、是ハ如何ニ粒ガ揃ツテ居テモ廢棄ニナサルノが當然デ御坐イマス、是ハモウ私ニシテモ左様ナ場合ニ於テ、政府ガ粒ガ揃ツテ居ルカラ、此薄皮繭デモ何デモ及第サセルナドハ私ハ初カラ思ツテ居リマセヌ、故ニ今ノ御言葉が絲屋ノ排斥スル程ノモノナラバ無論排斥サセマスト云フ御言葉デハ、私ハ満足スルコトが出來ナイ、之ヲ要スルニ私ノ重ネテ御答ヲ得タイコトハ、實業家ガ——實際絲屋が見テモデス、此繭ノ子ナラバ、宜サウダト思フ、之ヲ事實ニ照セバ高ク買ヘル繭ナノデス、サウスルト多少粒が揃ハヌカラト云ツタツテ、ソレハ種繭ニサセテ御ヤリニナラナケレバナラヌデス優良ナ、混血

兒——折角混血兒ニ混血兒ヲ重不來テ、優良ナモノガ出來タラバ、粒ガ揃ハヌカ

ラ——混血兒ナルガ故三粒ガ揃ハヌノハ當前アリマス、粒ガ揃ハヌカラソレ排斥シテ絲

蘭ニ賣レト云フコトハ大變ドト思フ、其邊ニ十分ナ御斟酌ノアル規程ヲ御設ケニナルナ

ラバ兎モ角モ、然ラザルコトナラバ是ハ餘程重大ナコトダラウト思フカラ御答ヲ願ヒマス

○政府委員(芳賀權四郎君) 一寸意見ノ相違ノヤウニナリマスカラ、一應申上ゲテ置

キタイ、雜種デアルカラ區々ノモノガ出來ルト云フ前提ヲ置カレテ、雜種ヲ御歡迎ノ御話ガ

アルケレドモ、是ハ政府ノ意見トハ全然反シテ居シテ、政府デハ此雜種ニ依テ一定ノモ

ノヲ造ラセルト云フ方針デアリマス、漸次ニ一代交配種ノ原種ノ優良ナルモノヲ得サセ

ルノデアリマシテ、色ミノモノヲ掛ケ合セルト、分離シテ丸イ物トカ細長イ物が出來ル、サ

ウ云フモノハ政府トシテハ獎勵シタクナイ、掛ケ合ハシテ、出來タモノガ兩親ノ何レヨリモ

立派ナソーシテ一定ノ物ヲ當業者ニ飼ハセルト云フ方針デアリマス

○降旗元太郎君 私ノ混血兒ダカラ種々ノ種類ノ出ルハ當前ト云フタノハ、今芳賀君

ガ例ニ引カレタ丸イ蘭、長イ蘭が出來ル、ソレガ當リ前ト言ツタノデハナ、同ジ真中ノ締ツ

タ蘭デモ、形ノ自然大小ノモノモアル、其他ニ於テモ形狀ニ多少ノ差ガ生ズルノデアル、同

ジ真中ノ締ツタ蘭デモ、其締リ方ニ於テ甲乙ノ別種類ヲ混血兒ニスレバソレダケ多少ノ差

ガ生ズルノデアル、此混血兒デ一定ノモノヲ維持スルト云フコトハ、角ヲ矯メテ牛ヲ殺ス

ノ結果ニナルカ知レナ、テ意見ノ相違ダケナラバ私ハ議論ヲ如何様ニモスルケレドモ、恐

クバ言葉ノ相違デ、私が又芳賀君ノ言葉ヲ言葉咎メスルト同ジニナルト思フ、芳賀

君ノ所謂一定ト云フコトハ、如何ナル條件ニ當嵌ツタモノヲ之ヲ一定ト言フノデアルカ、

現ニ一定ノモノヲ以テ一代交配ラスルト云フコトデハ無イト云フコトヲ聞イテ居ル、スルト

是ガ日本ノ現在ノ蘭ニ付テハ此ニ於テ繰り返シテ申スガ、何年何百年種々ノ混血兒

デ——何百年ト云フノハ當ラナイカ知ラヌガ——最近殊ニ混血兒ヲ持ヘルト云フ 風

潮ガ盛ニナッテ、春蠶ノ如キハ兎ニ角、殊ニ秋蠶種ニ於テ混血兒ヲ澤山持ヘテ來テ

居ルノデアリマスカラ、自然ニ何等カノ様式ヲ取テ行カフト云フナラバ或ハ宜イカ分ラヌ

ガ、今茲ニ固定セル種類ト云フト元來秋蠶ニドウ云フ固定セル種類ガアリマセウカ、

恐ラク其判定ハ出來ヌト思フ、何ト何トノ種類ヲ交配スレバ其固定セル種類が出來ル

カ、又固定セル何ノ種類ハドノ縣デハドレト指定シテ擧ゲルコトハ出來ヌト思フノデアル

○政府委員(芳賀權四郎君) 唯今固定ノ種類ハ何ノ某ト云フコトヲ指定スルコトハ

出來ヌト云フ御言葉ガアリマシタガ、其通ソレハ私ニモ出來マセヌカ

ラ一蛾別飼育ヲシテ選擇シヤウト云フノデ、稍、固定ニ近イ所謂純粹種ニ近イモノヲ一

蛾別ノ飼育ヲシテ、面倒デハアルガ選出シヤウト云フ譯アリマス

○秀賀長(武藤金吉君) 一寸御注意申シマスガ、意見ノ相違ガアルノハ宜シウ御坐

イマセウガ、成ルベ質問デアリマスカラ、雙方共ニ質問ノ要領ヲ得ルコトニ願ハナケレ

バ、未ダ此他ニ質問ヲ控ヘテ居リマスカラ、其積リテ願ヒタウ御坐イマス

○降旗元太郎君 極ク簡単ニ質問致シマス、芳賀君ノ唯今ノ御説ハ詰リ丸イ物が出来、細長イ物が出来タリスルデハイカヌカラ、一蛾別ノ飼育ヲスルト云フ御説明ナラ

バ、私ノ質問ハソレテ止メマスガ、サウ御答が出來ルノデアリマスカ

○政府委員(道家齊君) 今降旗君竝ニ芳賀委員ト段々一蛾飼育ニ付テ質問應答

が御坐イマシタガ、政府ノ考ヘル所ハ芳賀委員ヨリ申シタヤウナ大體趣意デアリマスガ、其間ニ多少意味ノ違テ點ガアリハシナイカト思ヒマス、ソレハ一蛾飼育ヲ致シマスル趣意

ハ、大體ガ先ツ其雜種ヲ造ル元デアリマスルカラ、其元が成ルベク純潔ニアツテ、餘リ複

雜ニナツテ居ナイモノヲ用井ナケレバナラヌ、ソレデ其區別ヲスルニハ色ミニ方法ガアラウガ、

先ツ一蛾飼育ニシナケレバ選別ガハケ敷イ、其選別ヲシテサウシテソレ原種ニ使フノデ

アリマスガ、其原種ハ選別ヲ終ツテ他ノ種類ヲ掛ケ合シテ、ソレガ色ミニ變化スルト云フ

程度ノモノハ原種ニハナラヌノデアリマス、ソレデ其選別ガハケ敷イノデアル、此選別ノ程

度ハ是ハ色ミアリマセウ、アリマセウガ今降旗君ノ御話ノヤウニ長ク年ヲ經テ來タモノハ殆ド元ハ雜種デモ固定ニナツテ居リマセウカラ、ソレヲ原種トシテ掛ケ合ハセレバ豫定ノ一

代雜種が出來ル譯デアル、若シ其選別ヲ誤ツテ居ルト、豫定ノ雜種が出ナイダラウト云フ

ノデ、今國立ナリ地方ノ原蠶種製造所デヤツテ居ル種ガ、即チソレヲ拵ヘテ居ルノデアリ

マシテ、ソレガ今當業者ノ中ニ歡迎サレテ居ルノデアリマス、即チ一蛾飼育ト云フモノヲ

シタ結果、餘リ雜駁ナル種が出來ナイ程度ニ行ツタモノ、ソレヲ原種トスル、斯ウ云フコトニナツナツテ居リマスカラ、是が全體幾十年ノ前ニ掛ケ合シタモノノデアルカラ、是ガ雜種カド

シタ結果、餘リ雜駁ナル種が出來ナイ程度ニ行ツタモノ、ソレヲ原種トスル、斯ウ云フコトニ

トニナツテ居リマスカラ、是が全體幾十年ノ前ニ掛ケ合シタモノノデアルカラ、是ガ雜種カド

ウカト云フコトヲ詮議スル必要ハ無イト思フノデアリマス、實際ニ於テ國立其他ノ原蠶

種製造所デ一蛾飼育ヲ行ヒ、ソレガ甲乙掛ケ合シテ豫定ノモノが出來ルト云フコトニナ

レバ之ヲ原種トシテ出シテ宜シイ、ソレデ又是ト同シニ出來タ當業者ノ分ハ無論是ハ原

種ニ用井テ宜シイ、斯ウ云フノデ即チ原種ニ選出スル程度ノ議論デハ無イカト思フノデア

ル、唯、選出ノ方法ハドウシテモ混淆飼育デハイカヌ、一蛾飼育ト云フ

モノハ大變技術ガハケ敷イ、是迄始終ヤツテ居リマセヌカラ、馴レナ、當業者ニ於キマシ

テハ幾等カソレハ不便デアリマセウガ、併ナガラ原蠶種製造所ナリ國立原蠶種製造所デ

試驗ヲ致シマシタ結果、左程六ヶ敷クナイ、又今度ノヤウナ風ニ致シマスト、其數が限ラ

レテ仕舞フ、是ハ何レ芳賀委員カラ過日御説明申上ゲタデセウガ、今日ノ如ク特別蠶

種ト云フヤウナ多數ノモノニナリマスト、ソレハ一々一蛾飼育杯ハ出來マセヌケレドモ、此

原種ナルモノハ極ク吾ミノザットシタ考ニ致シマシテモ、千一二三百蛾位ナモノガアレバ宜イ

譯デアリマスカラ、極ク數量ハ少ナイモノデアリマシテ、從ツテ注意モ届イテアリマセウシ、又

少シク馴レマスト、サウ六ヶ敷イモノデハナ、又一面ニ於テ東員ガ此指導ニ當リマスカラ、

吏員ト云フモノハ相當技術ヲ知ラナケレバナラヌト云フ仰モ、此

對シマシテハ相當講習モ致シマシテモ、千一二三百蛾位ナモノガアレバ宜イ

ウナコトハ、一面ニ於テハ細則デ極メマス、又一面ニ於テハ實際ノ問題デアリマスカラ、

講習杯ヲシテ選別ノ方法ヲ教ヘルヤウニ致シマスカラ、大體ニ於テ數ガ少ナクモアリ、又

之ニ從事スル者が規則並ニ講習ナリヲ致シマス、ソレカラ選別ノ方法トシマシテハ一蛾

飼育デアリマスカラ、是ハ技術ニナリマセヌケレドモ、併シ六ヶ敷クハナカラ、斯ウ云フ

考デアリマスカラ、詰リ原種ト云フモノハドノ位ノ程度ノモノデアルカ、固定シテ居ルノハ

ドノ位ノ程度ガ宜イカト申シマスト、前申上ゲルヤウニ掛合シタモノハ雜駁ナモノが出来ルヤ

ウナ程度ノモノデハイカヌト思フ、其方法トシテ一蛾飼育ヲヤル、斯ウ云フ考ヲ有シテ居リ

マスカラ、結局サウ違ヒシナイダラウト私ハ思ヒマス

○半谷清壽君 皆サンカフ一蛾飼育ノコトニ付テ大變御質問モアツタヤウニ伺ヒマス

ガ、一體一蛾飼育トカ何トカ云フコトノ問題ノ起ツタノハドウ云フコトデアリマスカ、唯ミ
雜種ヲ捨ヘルト云フコトノ目的カラ起ツタト云フコトデアリマスガ、是ハ一體學理上實驗
上必ズ掛合セト云フモノハ絕對ニ是ナルモノト云フ確實ナル證據ヲ得タ上アルノデアリ
マセウカ、現今ノ所デ掛合セノ必要ハ私共十分ニ見テ居ルノデアル、ソレデ前ノ議會抔
ニモ四十何箇條ノ問ヲ起シタル時分ニ、何故ニ日本ノ政府デハ法律ヲ以テ掛合セヲ禁シ
テ居ルノデアルカト云フコトヲ質問ヲ致シタコトモアル、續イテ外國カラ蠶種ヲ輸入スルヤ
ウナコトモ甚ダ嚴重ナルコトハドウ云フモノデアルカト云フ疑ヲ有ツタノハ、僅ニ此間ノコト
デアリマシタ、然ルニ今日ニナツテハドウシテモ雜種デナケレバナラヌ、外ノ國カラ持ツテ來ナ
ケレバナラヌト云フコトニナツタノハ、是ハ今日ノ養蠶界カラ當然來ルベキモノデナケレバナ
ラヌノデアリマスガ、併ナガラ是ハ確實ナル證據ヲ得テ絕對ニ掛合セト云フコトヲセナケレ
バ、良イ種類ハ出來ナイト云フ茲ニ學理ガ立ツタモノデアルカ、經驗ガ立ツタノモデアルカ、
ドウモサウデナイト云フト、日本蠶種ト云フモノハ亂レテ仕舞シテ、品モ世界各國ニ類例
ノナイ下等ノモノニナル、之ヲ回復スル爲ニ成程掛合セモ必要デアル、外國カラ輸入モ
大切デアリマスケレドモ、若シ眞實ニ此養蠶ノ研究ガ立ツテ、根本的ニ日本ノ養蠶が發
達シテ行ツタナラバ、チャント極ツタモノデナケレバナラヌ、是ハ私共ハ一時ノ現象デアツテ
今日ニ處スルダケノコトデアラウト思ヒマスガ、サウデナク政府ノ目的ト云フモノハ、今迄ハ
交配種が悪カッタ、外國カラ來ルノラ防イテ居タ、ソレが俄ニ斯ウ云フ風ニナツタノハ、茲
ニ確カナル原理ヲ見出シテ交配デナケレバナラヌト云フノデアリマスカ、其處ヲ一寸伺ヒタ
○政府委員(芳賀權四郎君) 御答致シマスガ、政府モ總て雜種デナケレバナラヌト云
フ考ヲ有ツテ居リマセヌ、蠶業試驗所が設置サレマシタ當時ハ、固定種ノ中ニ優良ナル
モノ選出スル考デ努力シタノデアリマスガ、ソレト同時ニ「メンデリズム」ヲ應用シテ雜種
ヲ作リ之ニ依ツテ良イモノ造出スト云フコトヲ計畫シテ、幸ニ優良ノモノヲ發見致シ
シタ所ガ、固定種ノ方デハ相當良イモノモ出來テ居ルケレドモ、未ダ世ニ之ヲ推奨スルダ
ケノモノヲ得テ居リマセヌ、詰リ固定種ニシテ理想的ノ良イモノが出來マシタナラバ、之ニ
越シタコトハナインデアリマスガ、勞力が比較的少ナクシテ、稍々理想ニ近イ優良種ヲ作
リ得ルノハ交雜ニ據ル捷徑ト認テ居ルノデアリマス、斯ウ考ヘテ今日デハ一代雜種ノ普
及ニ努メテ居ル譯デアリマス、ケレドモ固定種ノ中ニ優良種ヲ發見スルコトモ亦ヤツテ居
ルノテアリマス、必ズシモ雜種ノミデ押通スト云フ考デハナインデアリマス

○半谷清壽君 尚伺ヒマスガ、今日日本ノ蠶種ハ種類ニ於テ確ニ劣ツテ居ルト云フコト
ハ皆サン御承知ノ通リデアル、併シ以前餘リ政府ノ御干涉ヤ何カナクシテ自由ニ放任シ
タ時分ニハ、頗ル優良ナル蠶種等ノ發見モアツヤウニ思ヒマスガ、其當時ニ比較シテ日

本ノ現在ノ種類が劣リハシナインデアリマセウカ、矢張相變ラズ元ノ通りデアルケレドモ、
外國ノ種類が非常ニ進歩ノ爲ニ此方が悪クナツタノカ、或ハサウデナク日本ノ種類ハ元ヨ
リ悪クナツタ、此事ニ付テハドウ云フ御考デアリマセウカ

○政府委員(芳賀權四郎君) 昔ノ實際ノコトハ私モ能ク存シマヒヌガ、隨分昔ハ日
本ノ種類中ニモ優良種ガアツヤウデアリマスガ、ソレハ今日デハ殆ド其種類ハ絶エタ、又
絶エニシテモ、其種類ノ飼育ノ區域ガ少ナクナツタ云フコトモアルヤウデアリマスガ、是

モ畢竟良イト思ツテ居ツタ、ソレハ品質ノ點デアツテ、經濟上カラ云フト或ハ引合ハヌ種類
デアツカモ知ラヌト思フ、今日迄優良種トシテ残ツテ居リマスノハ、品質ノ上カラ言ヒマ
シテモ、亦經濟上カラ考ヘマシテモ、必ズ優秀ノモノガ残ツテ居ルト考ヘマスノデアリ
ス、決シテ日本ノ種類ノ良イモノガ悪いモノノ爲ニ打勝タレタト云フコトハ事實ナカラ
ウト思ヒマス、今迄種類ガ良カツタ考ヘテ居ツタノハ、ソレハ養蠶家ノ經濟上或ハ製
絲家ノ經濟上カラ言ツテ、利益デナイト云フヤウナモノガ今日排斥サレテ居ルノデ
アリマス、今日殘ツテ居ルモノハサウ云フモノヲ打負カシテ、優勝ノ位地ヲ占メテ居ル
ノデアラウトス考ヘマス、併ナガラ品質モ良ク、又經濟上カラ考ヘマシテモ良イモノガア
クタカ、知レマセヌ、併ナガラ私ノ考ト致シマシテハ、品質ノ良イモノデモ、ドウモ養蠶經濟
ニ合ハナイト云フモノガ大分有ツヤウデアリマスカラ、サウ云フコトデ良イト認メラレタモノ
が存外世ノ中カラ排斥サレテ、跡方ヲ留メナイヤウニナツタ、斯ウ考ヘルノガ至當デアラ
ウト存スルノデアリマス

○横井藤四郎君 モウ一ツ私ハ——結局降旗君ノ説ト落著ク所ハ同ジト思ヒマスガ、
二ツ缺ケテ居ル所ガアルト思ヒマス、ソコテ政府委員ニ御考ヘテ願ツテ、此方ヲ定メタイト
云フ意見デアリマス、一蛾種別ノ飼育ト云フコトハ、ドウシテモ此場合原蠶種改良ノ上
ニ於テ採用シナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ一般ニ認メルト恩フ、併ナガラ一蛾種別
ヲ繼續スレバ、ソレが爲ニ蠶兒ヲ比較的貧弱ナラシメル處ハナイカ、蠶兒ヲ貧弱ナラシ
メル場合ニ、ソレヲ救濟スル途ハ如何ナル途ヲ以テスルカ、ソレニハ單ニ主務大臣ノ指定
蠶種或ハ輸入シテ蠶種デ一蛾別ニ爲シ能ハザルモノト、此二ツノ種ノ混合種ヲ許ス以外
ニ、何トカ外ノ途ヲ御開ケニナツテ一蛾別ヲ繼續シテ、蠶兒ヲ比較的貧弱ナラシメルコト
ノ救濟ノ途ヲ此項ノ中ニ御入レサツテハ如何カ、モウ一ツハ新シク何カノ「ブロセツス」
ヲ發見サレタモノニ對シテハ、混合飼育ヲ許ス途ヲ入レタラ如何カ、此二ツノ御意見ヲ伺
ヒタク

○政府委員(芳賀權四郎君) 第一ノ御尋ニ對シテハ、先程御答致シマシタ以外ニ、
純粹飼育即チ一蛾別飼育ヲ繼續致シマスルト、幾分カ虛弱性トナルト云フコトハ、生
物ノ原則ト考ヘマシテ、ソレハ政府トシテモ大ニ考ヘタノデアリマス、ソレヲ或程度マニアル
缺點ヲ補フ爲メニ、一代雜種ヲ原種ニ供用スルコトヲ認メル、サウスルト蟲モ丈夫ニナル
ト云フ事實がアリマスカラ、一方デハ純粹飼育ヲ原則トシテヤリマスガ、又虛弱性ノ遺傳
ヲ防グ爲メニハ、一代雜種ヲ原種ニ供用スル途ヲ入レタラ如何カ、此二ツノ御意見ヲ伺
ベ此ノ一代雜種ハ一代雜種ヲ原種ニ供用スル必要ハナインデアリマス、ソレカラ第一ノ御尋
ハ……

○横井藤四郎君 輸入シタル蠶種又ハ主務大臣ノ指定シタル蠶種以外ニ混合飼育
ヲ許サナイカ、其外ニ何カ特別ノ場合ニ新シイ優良ナ蠶種ヲ發見シタ場合ニ、混合飼
育ヲ許スヤウナモウツ何カ拔道ガナケレバ餘リ窮屈デハナイカト云フノデス

○政府委員(芳賀權四郎君) ソレハ是迄申上ゲマシタ以外ニ更ニ除外ノ途ヲ開ケル
コトニ付テハ唯今ハ考ヘテ居リマセヌガ、御尤モナ仰セテアリマスカラ、其點ニ付ギマシテ
尙攻究ヲ致スコトニ致シマシヨウ、是ハ省令ノ方デ出來ルノデアリマシテ、法律ニハ何モ
關係御坐イマセヌ、其點ハ一ツ篤ト調査致シマシテ、其途ヲ開ケルコトニ致シマシヨウ

○植原悅二郎君 ソレニ付テ主務大臣ノ指定シタル其外モウ一ツ——或ハ願が出テソレ認可シタルトスウ云フ風ナ「オルタネチーブ」ヲ入レテ置イタラ如何デヒウカ

○政府委員(芳賀權四郎君) ソレハ如何デセウカ、農商務大臣ノ指定ノ範圍ニ屬スルト思ヒマスカラ、ソレハ省令ノ方デ其途ヲ開ケル様ニ攻究スルコトニ御任セクダサツハ

○工藤善助君 今芳賀サンノ御説明ニ付テ先刻カラ伺ヒタイト思ヒ マシタガ 御説明ガアツカ其事ハ分リマシタガ、一代交配種ヲ原種ニスルト云フコトノ途ヲ御開キニナルト云フ御決定ニナツテ居リマスカ

○政府委員(芳賀權四郎君) 是ハ實ハ命令ノ方ノ事デ、省令ノ事ハマダ省議ヲ決定致シタノデアリマセヌガ、多分サウ云フコトニナルト確信シテ居リマス

○工藤善助君 是ハ二ツ併セテ交配種ヲ拵ヘルノト、唯今吾ミノ實驗デハ種類ニ依テハ寧口交配シタモノヲ種ニシテ、ソレヲ種屋ノ原種ニシタ方ガ宜ノガアル、若シ之之ガ一ツトシテ見タ所ガ、蠶種製造家ニ販賣スル蠶種ヲ一々之ヲ交配種ニスルト云フコトハ、成ルベク同ジコトナラバ手ヲ省キマセヌケレバ、手數ノミナラズ、同時ニ發蛾ト云フモノモ

サセナケレバナラヌ非常ニ苦痛ナモノデアリマス、ソレデ御坐イマスカラ、今マテ試驗ヲ致シマシタ所ニ依リマスレバ、其交配種ノ種類如何ニ依ツテハ、一代交配種ヲ種屋が原種トシテ拵ヘテ、今度ハ今迄ノ普通ノ通リノ製造ヲシタノヲ頗ル優良ナモノガ澤山アルカラ種類ハ御決定ニナラナイデモ、此趣意ハ決定マデニハ御確答ヲ願ヒタイ、其御確答ニ依テハ法文ニ修正ヲ加ヘタイ、其決定ニナレバ修正ヲ加ヘナイデモ宜シイ、ソレト唯今ノ植原サンカラ御質問ニナリマシタ、即チ先刻私ガ御伺ヲ致シマシタ所ノ農商務大臣ノ指定シタルモノハ此限リニアラズト云フコトガ、決定マデニ、——今日ハ定メテ決定ト云フコトニ參リスママイガ、ソレ迄ニハ一ツ御明答ヲ戴キタイ、是ハ御明答ヲ戴イテ居ラムト云フト、私共ガ此法案ニ同意スルト否トガ之ニ依ツテ岐ル、點ニアリマスカラ、ソレヲ伺ヒタイ○政府委員(芳賀權四郎君) 唯今ノ一代雜種ヲ原種ニ供用セシムルト云フコトハ、此は中央會ノ希望デモアリ、又其當時政府トシテモ異議ナイト云フコトハ、一應答ヘテ置キマシタ、今日モ其考テ居リマスカラ、ソレハ爰テハッキリ御同意ラスルト云フコトヲ申上ゲテ差支ナイト思ヒマス、ソレカラ植原サンノ御希望モ是ハ大體ニ於テ政府モ異議ハ御坐イマセヌ、其御趣旨ニ副フヤウニ一ツ規定上ノ考ヲ致シマス

○委員長(武藤金吉君) 一寸御詰リ致シマス、此法案ノ骨子ニ付テ、農商務大臣及大藏大臣ノ出席ヲ求メテ質問ヒバナラヌ要點ガアルヤウニ委員長ハ考ヘマスガ、此場合ニ兩大臣ノ出席ヲ求メテ質問シタイト思ヒマス
〔賛成タクト呼フ者アリ〕

○委員長(武藤金吉君) 尚兩大臣ノ出席スルマデハ御質問ノ繼續ヲ願ヒタイ

○井原百介君 質問ガ大分長ク續キマシタガ、私モ之ニ多少疑モナイデモアリマセヌカラ同ヒマスガ、先刻誰方カノ質問ニアツタ如ク、第十九條ニ蠶絲ノ検査ヲスルト云フコトガ、今回初メテ此蠶絲法ニ此事ガ現ハレテ來タコトハ非常ニ喜ンテ居リマス、蠶絲法ト云フ項目ガアリナカラ、絆ト云コトガナカツタガ、初メテ一箇條出來タヤウナコトデアリマス、此出タ原因ハ先刻芳賀委員カラ大體ノ御説明ニナツタヤウデアリマスガ、主務大臣トシテハ此必要ハ成程御臣又ハ地方長官ガ之ヲ發スルコトヲ得トアリマスガ、主務大臣トシテハ此必要ハ成程御

認メニナツテ居ルニ相違ナイノデアリマスガ、實際絲ニ對スル此弊害ガアルト云フコトハ、全國ニ於テ又事實サウデアルノデアリマス、之ニ對スル検査ハ如何ナルコトヲヤルト云フヤ設ケヌ考デアリマス、ト申シマスモノハ、コレハ或一地方ノ弊害ニ御坐イマスカラ、寧口是ハ府縣知事が發スルノが便宜ト考ヘマス、廣イ區域ニ瓦ル弊害デアリマスレバ、農商務省令ヲ設ケルノが相當ト考ヘマスルガ、一一ノ地方ニ限ラテ居ルト思ヒマスカラ、之ハ地方長官ガ必要ヲ認メタ場合ニ此命令ハ發スルト云フコトニ致ス考デアリマシテ、省令ニ規定スル考ハ有ツテ居リマセヌ、併ナガラ地方長官ノ検査項目ニ付テハ、何レ地方長官ガ此ノ命令ヲ發スル場合ニハ豫メ認可ノ申請ガアリマスカラ、其際ニハ充分考量スル考デアリマス

○井原百介君 成程今御話ノヤウナ實際非常ニ困ツテ居リマスコトハ、輸出向ニ織物ヲ出シテ居ル所ニアラウト思ヒマス、併シ是ハ現在ハ二三ノ地方ニ止マツテ居リマスガ、將來各地方ニ瓦ルコト、思ヒマシシ、尙ホ又一地方ニ検査ヲ致シマシテモ、地方ノ所謂縣令トカ云フモノニナリマスト、其影響ガ他ニ及ボスコトガ少ナイ、ソレデ各地ニ色ニノ手段ヲ講ズル製絲家ガアルト思ヒマス、各地ニ出來タモノハ或地方ニ需要サレル地方ニ集マツテスルコトハ他ノ方法ニアリマスガ、絲ノ検査ニ對シマシテハ行ハレナイヤウニ思ヒマス、何トカ此主務大臣テ一般ノ此絲ニ對スル所ノ取締ノ方法ヲ設ケテ戴ク「トトシテ貴ツタナラバ、其弊害ハ其地方が仕合セノミナラズ、全體ニ仕合セニナルト考ヘマス、一地方ノ縣令ハ其地方ノ實行シカ出來ヌト考ヘマス

○政府委員(芳賀權四郎君) 唯今ノ御説ハ一應御尤モデ御坐イマスガ、全國ニ向テ取締ヲシマスルト云フコトハ、非常ナ經費ト非常ナ煩雜ニナリマスカラ、寧口需要地ヲ取締ツタ方ガ最モ有效デアリ、經費モ比較的ニ少ナク、殊ニ今日テハ輸出織物ノ生産地ニ一箇所バカリ生絲検査所ヲ現ニ設ケテ居リマス、ソレシテ其地方ナハ從來生絲取引ケアル地方ニ検査ヲ致シマスルナラバ、其地方ノ輸出織物ハ改良モ出來マスルガ、全國ニ此機關ヲ設ケルト云フコトハ、容易ナラヌ經費デ御坐イマスカラ、將來斯様ニ弊害ガ商務大臣トシテ全國ニ向ツテ取締ノ命令ヲ發スル必要ガラウト思ヒマスガ、唯今ノ所デハ一一ノ地方ニ限ツテ居リマスカラ、而モ其地方ニハ検査所モ出來テ居リマスカラ、ソコテ抑ヘマシタナラバ、全部ノ弊害ヲ矯メルコトハ出來マセヌテモ、其地方ヘ入シテ來ルダケノ不正蠶絲ハ取締ルコトが出來ヤウト考ヘテ居リマス

○井原百介君 唯今申上ダシタヤウニ、詰リ申ノ地方ニ取締検査法ヲ嚴重ニ致シ

マシテモ、乙ノ地方カラ入ッテ來タ絲ニ對シテ出來ナイ譯デアリマス、乙ノ地方デ検査シタモノガ甲ノ地方デ不正ト見テ、ソレヲ撤回シテ其方デ嚴重ニ取締シテ貴フト云フコトが出來ル場合ガ多イ、例ヘバ甲乙ノ地方ガアツテ、甲ノ地方ハ需要地デアル、乙ノ地方ハ生産地デアル、甲ノ地方デイカスト言シテ撤回スル、ソレハ取ラナイ譯デハアリマスケレドモ、併シ此乙ノ地方ノ弊害ヲ矯メルト云フコトハ、隨分將來考ヘナケレバナラスト思ヒマス、餘程サウ云フヤウナ惡辣ナ手段ヲ執ラレルモノガアルト思ヒマスカラ、將來餘程是ハ攻究シナケレバナラスト思ヒマス、甲ノ地方デ實際施行シ居ル所ノ規則ニ觸レルモノハ、矢張リ一般ニ相當ノ處分ノ出來ルヤウナ方法ヲ詰リ主務大臣ニ執シテ貴ヒタイ、ソレデ甲ノ地方ナリ其他ノ地方ニ於テ設ケタ検査規則ハ、其地方ニ入ッタ生絲ニ對シテ何處マテモ應用スルヤウニ主務大臣カラ指定シテ貴シタナラハ宜クハナイカト思ヒマス

○政府委員(芳賀權四郎君) 御説ハ至極結構ナコト、思ヒマスガ、此法律ノ制定ノ趣旨ハ、生産者ヲ取締ルト云フコトハ容易ナシカラ、販賣者ヲ取締ルト云フ趣旨デ御坐イマス、追テハ生産者ヲ取締ル必要ヲ認メルヤウナコトガアリマスレバ、其節ハ法律ヲ改正スルナリ、或ハ法律ハ改正セヌデモ、農商務大臣ガ全國ニ瓦シテ生産販賣雙方ノ販賣者ノ取締ヲ致サウト云フ趣意デアリマス

○山西和君 甚ダ遲刻シマシタ、原蠶種ノコトニ付テ承リタイ、外國カラ輸入ヲスル原蠶種ト云フモノハ、ドウ云フ風ノモノヲ輸入致スノデアリマスカ、我國ニ於キマシテハ外國カラ參ル原蠶種ヲ拘ヘキモノハ、伊太利邊リノ既ニ雜種デアルト思フノデアリマス、若クハ一代交配種ト思フノデアリマス、サウ云フモノヲ日本デ原種トシ若クハ原々種トシテ取扱フト云フコトハ甚ダ遺憾ト存ジマス、伊太利ノ基礎原種ヲ輸入シテ之ヲ、原蠶種若クハ原々種ニ使フト致シマスレバ、甚ダ徹底致シマスルガ、此邊ハ如何ノモノデアリマス

○政府委員(芳賀權四郎君) 外國原種ヲ入レマス目的ハ一面ニハ日本ノ原蠶種ノ改良ヲ圖リ、モウ一ツハ又蠶業試驗場府縣ノ原蠶種製造所デ當業者ニ配布致シマス優良蠶種ガ、唯今ノ處當業者ノ需要ニ全部應ズルマテノ程度ニ行ツテ居リマセヌ、故ニ外國種ハ主トシテ日本ノ原種ヲ改良スル爲メノ原種ニ供用セシムル目的デアリマスガ、又一面ニハ普通一般ノ養蠶家モ飼育サセル必要ヲ認メルノデアリマス、併ナガラ是ハ一時ノ必要カラ普通ノ養蠶者ニシレラ使ハセマスノデ、結局優良ナル原蠶種ヲ原トシテ日本デ優良種ヲ造ルノガ目的デアリマス、併ナガラ今日ハ當業者ノ満足スルダケノ製造能力ガナニ、設備ノ上ニ於テモ其處マテ行ツテ居リマセヌ、又一般養蠶家ノ製絲用蠶種トシテ輸入スルモノハ今ノ御説ノ通り一代交雜種デアリマス、稀ニハ純粹種モアリマスガ、ソレヲ何故ニ原蠶種トシテ輸入スルカト申シマスト、ソレヲ飼ヒ續ケテ行ク内ハ、ソレガ分離シテ如何ナルモノト如何ナルモノト合シテ出來テ居ルカガ分リマス故ニ、斯ク分離シテ原種ヲ取りマシテ、サウシテコチラノ原種ノ改良ヲ圖ル考デアリマス、ソレカラ基礎蠶種ヲ向フカラ取ルト云フコトハ非常ニ困難デアリマス、向フノ蠶種製造者ハソレヲ示スト云フト、自分ノ一代雜種ヲ賣ル得意ヲ失ヒマスカラ、祕密ニ致シテ居リマス、原種ヲ外國ニ出スト云フコトハ歐羅巴ノ種屋ハ嫌テ居リマス、故ニ蠶業試驗場デハ力メテ純粹種ヲ探ガシ

テ居リマスガ、純粹種ヲ手ニ入レルコトハ非常ニ困難デアリマス
○山西和君 次ニ顯微鏡検査ノコトヲ御尋ネ致シマス、從來ノ顯微鏡検査ハ少年少女ヲ驅り集メテ、ホンノ僅カノ間教育シテ、暫クノ間實習サセント、直チニ検査員ニ從ツテ微粒子ガ一代ノ間ニ色ミノ變化ヲ致シマス、其變化ノ状態ニモ通セヌ爲メニ、微粒子デナイモノヲ微粒子ト見ル場合モアリ、微粒子ノ形ノ變化シタ状態デアルモノヲ微粒子デナイト考ヘ得ル場合モアル、加フルニ澤山ノ枚數ノ検査ヲ致サセマスル爲メニ、益々検査ガ粗漏ニナシテ參リマス、ソレガ爲メニ検査シタモノ、中ニ隨分毒ノ多イモノモアリ、又検査デ通リマセヌモノ、中ニモ、案外毒ノ少ナインモアリマス、實際ニ於テ検査ノ效力ヲナサヌ有様デアリマス、ソレデ此検査ニ依シテ處分サレ仕舞フ蠶種ハ、ソレハ驚クベキコトデアリマスガ、今度ノ改正ニ依リマシテハ、從來ノ検査ノ目的、或ハ主義ガ違ツテ居ルヤウデアリマスガ、検査ノ方法ニ付テハ必ズ相當ノ改良ヲナサルコト、存ジマスガ、ソレ等ハドウ云フ御方針デアリマス
○政府委員(芳賀權四郎君) 御説ノ通り從來ハ非常ニ特別蠶種ノ製造額が多カツタ爲メニ、此微粒子ノ検査ニハ教育未熟ノ者ヲ使シタ云フ嫌ハアツタヤウデアリマス、從ツテ其検査ニモ絕對ニ誤謬ナシトハ申サレマセヌ、故ニ今回ハ此缺點ニ鑑ミマシテ、原蠶種タケハ絶對ニ優良ナルモノニ致シ、ソレカラ一般養蠶家ノ飼育スル製絲用蠶種ニ對シテハ、一蛾別検査ノヤウナ非常ニ手數が掛シテ、而カモ検査ノ未熟ナ者ヲ使ハナケレバナラスヤウナ不合理ノ検査ハ寧ロ之ヲ廢シマシテ、一面カラ見レバ多少手ヲ抜イタ検査ノヤウニモ見エマスケレドモ、寧ロ歩合検査ノ方ガ一蛾別ノ検査ヨリハ儻ツタ點ガアラウト思ヒマス、ソレハ何故ナラバ、是マデノ検査法ニ於テハ、金ヲ掛け、手數ヲ掛けテモ、検査上ノ錯誤ハ之ハ避ケ得ルトシマシテモ、製造上ノ錯誤ハ避ケルコトが出來マセヌ、故ニ割合ニ餘計ノ金ヲ掛け、勞力ヲ費シマシテモ、效力ノナイ検査ヲシテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ廢シテ歩合検査ノ簡ニシテ要ヲ得タ所ノ検査ニ改メタ譯デアリマス、併ナガラ此検査ニ從事致シマス者ハ、手數ヲ省キマスカラ、今マデノ女子ヲ使ヒマセヌデモ、相當ノ教育ヲ施シタ立派ナ人間ヲ使ヒ得ルコトト信ジテ居リマス、ソレカラ検査ノ方法ニ致シマシテモ、從來カラ見エマスレバ、今マデハ原種デラウト、養蠶者ノ掃キ立テマス蠶種デモ、検査方法ハ同様デアツタノデアリマス、今後ハ原蠶種ニ對シテハ一人テ目ヲ通スノデアリマス、ソレカラ一日ノ検査ノ數量モ制限ヲシテ、無理ナ仕事ハサセヌヤウニ致シマス、ソレカラ販賣用蠶種ノ検査ノ手數が減リマスカラ、從テ検査費ヲ省クコトが出來マスカラ、今ノ様ニ一日ニ千五百百蛾モ一千蛾モ検査スルト云フヤウナコトハ致サヌデモ、相當ノ程度ニ止メテ置イテ、入念ノ検査ヲサセルコトが出來マス、故ニ今迄ノヤウナ小學校ヲ出テ遊ビ盛リノ者ヲ使シテヤルト云フコトハ今後致サヌ積リテアリマス
○山西和君 サウスルト、原蠶種ト普通蠶種ヲ検査スル検査員ノ資格ハドウ云フ風ニ致ス積リテアリマスカ、人物ノ選擇或ハ其方法等ニ付テ尙ホ御説明ヲ請ヒマス
○政府委員(芳賀權四郎君) 原蠶種ノ検査ハ將來成ルベク常設吏員ニヤラセル積リテアリマス、販賣蠶種ハ從來一時雇ノ鏡検吏員ニヤラセテ居ツタガ、將來ハ成ルベク常設吏員、然ラザルモ技倆優秀ナル吏員ヲ使フ考デアリマス

○小西和君 改正法案ノ第五條ニ、蠶種製造ヲ營ム者ハ認可ヲ受ケナケレバナラヌ事ニナッテ居ルガ、是ハ一定ノ資格ヲ有スル者ナケレバ認可シナイ、即チ醫師辯護士薬劑師ト云フ風ニ、蠶種製造業ヲ營ム者ハ、或ル資格ヲ備ヘテ居ラケレバ許サヌト云フコトニシナケレバ甚ダ不徹底デアリマス、サウ云フ方法ヲ御立テニナル意思ガアルヤ否ヤ、其必要ノ有無ハ如何デアリマスカ

○政府委員(芳賀權四郎君) 蠶種製造者ニ對シテハ今日現在モ免許ヲ致シテ居事シタ者、ソレカラ一年以上ノ課程ヲ有スル府縣蠶業講習所試驗場ト云フモノヲ卒業シタ者、ソレカラ學識經驗アル者ニ對シテハ免許ヲ與ヘル、ソレカラ尙ホ設備ノ方テ制限ヲ附シテ居リマス、蠶種製造者ハ一定ノ掃立蟻量ニ對シテ蠶室蠶具相當ノ桑園ノ設備ヲ有ツテ居ラケレバ蠶種製造者タルコトが出來ヌト云フコトハ、是ハ施行細則ニ規定シテ居ルノデアリマス、今後ハ今迄ヨリハ幾分免許ノ條件高メル考デアリマス、ソレハ蠶種製造ニ從事シタ年限ヲ今マデ三年トシテアリマシタガ、將來ハ五年乃至七年位ニ延ハス考デアリマス、ソレデ今マデ學識經驗アル者ハ直ニ製造者ニナリ得タノデアリマスガ、今後ハ學識經驗ガアツテモ、蠶種製造ノ實務ニ從事シタ者ナケレバ許サヌ、斯ウ云フ事ニ致ス考デアリマス。

○委員長(武藤金吉君) 此機會ニ農商務大臣ニ當席ヨリ御尋ヲ致シタイ、此蠶種ヲ強制的検査ヲスルト云フコトハ、現行法律ト改正案トハ異ナッテ居リマスガ、農商務省ハ此検査ヲ簡略ニスルノデハナイ、検査ヲ十分シナケレバ、現在及將來ノ蠶種業ニ付テドウ云フ考ヲ有ツテ居ラレルカ、ドウシテモ之ヲ検査シナケレバ危險アル、蠶病ヲ豫防スルコトが出來ヌト云フヤウナ御見込が付イテ居ラウト思ヒマスガ、果シテサウナッテ來レバ此費用デアリマス、此検査ノ費用ハ此程六十九万圓、其中テ政府カラ六万何千圓ヲ出スト云フコトニナッテ居リマシタガ、是ハ多年ノ懸案ニナッテ居リマシテ、現行法律ヲ作ル時分ニモ、此處ニ工藤君モ居リマスガ、國庫ニ此費用ヲ負擔スルト云フコトヲ原則ニシテ法律ヲ制定サレテ居ル、當時財政ノ都合が惡イカラ、手數料ヲ取ルト云フ但書ヲ入レテ、此法律が出來タノデス、ソレカラ當業者ノ熱心ナル請願陳情等ガアリマシテ、政府ハ半分ダケ——百四十万圓掛カル、半分七十万圓ダケヲ財政上豐カニナッテ居ル譯デハアリマセヌガ、出スト云フコトノ案ヲ出サレテ、衆議院ハ通過シタノデアリマス、不幸ニシテ貴族院ニ於テ否決サレタノデアル、此度ノ法案ニモ矢張リ手數料ヲ取ルトシテアリマスガ、此費用ハ僅カ七十萬圓足ラズデアリマスカラ、政府ハ思ヒ切シテ此場合ニ之ヲ國庫ニ支辨スルト云フ御奮發ヘドウシテナカッタノデスカ、又ドウシテモ完全ニ検査ヲスルニハ、此位ノ大事業ニ向シテ御出シニナッテモ宜カラウト思ヒマスガ、此邊ニ付テハ前回ニ大臣ヨリ御答モアリマシタガ、尙ホ重要ナ問題デアリマスカラ御決心ヲ承リタイ

○國務大臣(仲小路廉君) 唯今委員長ヨリ御尋デアリマスカラ御答ヲ致シマス、蠶種検査ノコトハ、蠶種ノ改良ニ伴シテ色々其途ヲ變更致シマス、是ハ一般蠶業發達ノ先般モ此點ニ付テハ私ノ考ヲ申述ヘタト存シテ居リマス、之ヲ提案致スニ付テハ、實ハ之ヲ勿々ニ出ス考デハナカッタノデアリマス、此法案ノ必要缺クベカラザル事情モ十分ニ

納得ノ往キマスルマデハ、十分ニ攻究致シテ見タイト思ヒマス、殊ニ又之ヲ提案シマスルニ付キマシテハ、今日マテノ議會トノ關係等ノ事ニ付キマシテモ、能ニ調査ヲ致シマシタノデアリマスガ、成程検査費用等ノ事ニ付キマシテハ、或ハ議會ニ於テノ建議、若クハ法律、種々ナ變遷モ經テ來テ居ル狀況モ承知致シテ居リマス、故ニ此點ニ付キマシテモ私モノデアリマス、大藏大臣ノ方ニモ素ヨリ交渉ヲ致シマシタ、私自身ニモ考ノアル所ヲ以テ話ヲシタコトモアルノデアリマス、今日之ヲ國庫支辨ニ致スト云フコトハ、唯今ハ到底六ヶ敷イノデアリマス、先般モ既ニ此席上ニ申シマシタ如ク、成ベク必要ノ程度ニ於テ検査ノ事ハ之ヲ完ウシタイ、無駄ナ費用ハ成ベク掛ケナイヤウニ、又地方費ノ負擔モ出來ルダケハ之ヲ減少スルヤウニ致スガ至當ト考ヘマス、先般數字ヲ詳シク申上ゲマシタヤウナ次第ニ、先づ今日ハ此法ノ改正ニ依リマシテ、ソレダケ負擔ノ點モ減少ヲ致スコトアリマス、是ハ其爲メト申スノデハアリマセヌケレドモ、幸ヒ昨年以來養蠶生絲モ好況ヲ告ゲテ居リマス、是ハ誠ニ慶ブベキコトデアリマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒタイ、此際一言申上ゲテ置キタイコトハ、丁度過日モ此委員會ノ席上ニ、外國ヨリ輸入致シマスル蠶種ノ事ニ付キマシテ、ソレニ付テ大藏大臣ト一應協議ヲ致シテ見ルト云フコトヲ申上ゲタコトガアリマス、所が關稅ノ點デアリマス、是ハ此席上ニ御話シニナリマシタ事ハ誠ニ尤モト存シマシテ、之ヲ大藏大臣ト能ク協議ヲ致シマシタ、大藏大臣モ此點ニハ甚ダ同情ヲ以テ居ラレシテ、成ベクハ何トか其解釋ノ上ニ於テ都合好イ途が取レナイモノカト頻リニ攻究考慮モ致シテ見マシタ、又大藏大臣モ大藏省内ノ其途ノ者ニ就イテ種々攻究モ盡サレタノデアリマスガ、ドウモ今日ノ場合解釋ヲ以テソレヲ除外スルコトハドウモ六ヶ敷イ、然ラバ此際ニ關稅法ノ改正ヲヤルコトハ、先般モ申シマシタヤウニ、一ノ事ヲ始メル種々ナ點ニ又影響ヲ及ボシテ來マスカラ、甚ダ遺憾ナコトデアリマスケレドモ、此際是モ六ヶ敷イ、ソレデ斯ウ云云ノ方法ヲ執ルコトニ致シマシタ、此席上ニ御話ガアリマシタガ、金額ハ誠ニ僅カモノデアリマスケレドモ、關稅アルが爲メニ稅關等ノ手續ヲ經ルノニ甚ダ手數ヲ要スル、ソレガ爲メニ蠶種ニ傷ミヲ生ズル、是ハ至極御尤モナ事ト存ジマス、故ニ私ハ此關稅等ノ關係ガナイヤウニ除外シタイト思フノデアリマスガ、ソレハ解釋上六ヶ敷イノデアリマス、茲ニ於テ大藏大臣ト協議ヲシタノデアリマスガ、大藏大臣ヨリ稅關ノ方ニ對シテ訓令ヲ發シマシテ、蠶種ニ付テハ出來得ル限り簡易ナ處置ヲ執ルコトヲ訓令ヲシテ、而シテ力メテ此席上ニ御話ニナリマシタ御趣意ニ副フヤウナ途ヲ執ラウ、其内ニ又關稅ヲ改正スベキ時機が參ルト存ジマス、其際ハ又出來得ル限り盡ス積リデアリマス、此事ヲ添ヘテ申シテ置キマス

○委員長(武藤金吉君) 尚ホ當席カラ承リタイ、唯今關稅ノ點ニ付キマシテハ御慮ヲ——此費用ノ爲メ國家生產ノ爲ニ農商務大臣ノ御心配ハ感謝ヲ致シマス、検査費ニ付キマシテハ、元來現行法律ノ趣意が國庫ニ負擔スル、財政ノ都合上已ムヲ得ナイカラト云フ但書ヲ書イテ、制定ノ當時辛抱シテ時機ヲ見テヤルト云フコトデアッタ、既ニ大藏大臣ハ今日ハ御出席ハアリマセヌガ、今日ノ大藏大臣勝田君ハ其當時次官デ

アリマシタ、專ラ私共が其當時委員デアリマシテ、折衝ヲ致シマシタ、七十万圓ハ國庫デ出スト云フ案ニ喜ンテ同意ヲサレタ方デアリマス、是非共此法律ヲ改正スルニ付テハ——現行法律ヲ改正シテ、更ニ又改正シタ趣意ハ、ソレヨリ病毒検査ノ方法ヲ簡略ニシマシテ、費用ヲ減シタ申スモノ、矢張事實ニ於テハ其通りデアルト云フコトニナリマス、シテハ、誠ニ此法律制定ノ精神ニモ反スル次第ニアリマスカラ、唯今農商務大臣カラ折角ノ御言明デアリマスケレドモ、是非共此検査ヲシテ蠶絲業ノ將來ノ安固ヲ圖ルト云フ思フノデアリマス、又他ノ金ト違ヒマシテ、是等ハ吝ムベキ金デハナカラウト思フノデアリマス、元來此法律ハ——現行法ハ蠶病豫防法が變化シテ此法律ニナリ、又ソレニ同業組合法ヲ加ヘ、原蠶種製造法ヲ加ヘテ、三ツノモノガ合サセテ現行ノ法律が出來タノデアリマス、誠ニ法律カラ見マスルト平仄ヲ得ナイヤウナ法律ニアリマス、併ナガラ宜イ種ヲ捨ラヘルコトニナリマシテハ、病毒ノ減少及消毒ノ方法ト云フモノガ、ドンナニ進歩發達シテ往ツテモ、一日モ是ハ忽ニ出來ナイシヤナカト思ヒマス、殊ニ外國種ガ是カラ澤山這入シテ來ルコトニナリマシテハ、消毒ニ關スルモノ、豫防ノ方法、又微粒子ノ絶滅ニ關スル方法等ニ付テハ、餘程科學ノ研究ヲ尊重スル試驗所邊リ活潑ヲ要スルコトハナリカ、然ルニ今日ノ試驗所、即チ元ノ起ツタ原蠶種製造所ニ於キマシテハ、仲小路農務大臣ノ御就任ノ以前ニアリマスケレドモ、上田ノ蠶絲専門學校ニ於テモ相當ノ人ヲ追出シマシテ、又人ノ爭ヲ以テシテ、或ル所長ノ如キ、或ル博士ノ如キトハ、此實際カラ離學術尊重ヲ疎ンズルノ傾ガアルノデアリマス、例ヘバ或ル所長ノ如キハ、此相當ノ如キトハ、日本ニ於テ蠶病上ニ就テ兔ニ角大家トナシテ居ル一大博士ノ如キハ、此實際カラ離レテ居ルヤウナ現狀が在ル、殊ニ地方ノ原蠶種製造所ニ於テモ、又地方ノ原蠶種支所ニ於テモ此蠶業界ニ於ケル技術家學者ト云夫人ノ使ヒ方ト云フモノハ、殆ド吾ミが聞クニ餘ルノデアリマス、眼ニ餘ルノデアリマス、ソレハ實ニ今日ノ蠶絲業ハ吾ミが驚ク程發達進歩ヲ致シテ來テ居ルニモ拘ラズ、元ノ原蠶種ノ製造ノ目的ハ未ダ吾ミが期待スル所ニ、各々ノ御質問等ヲ拜聽致シテ居リマスレバ、政府ノ所信ト云フモノハ、殆ド何レニ在ルのノ效果ハ舉ゲテ居ナイ、加之原蠶種製造所ハイツノ間ニカ看板が變ツテ、今日ハ試驗所ノ名義ニナシテ居ル、而シテ此法律が出來ルニ付キマシテ、急ニ政府ノ説明又委員會相當ノ活動ヲ致シテ居リマスカ、又組合カラ代表スル人ハ相當ノ方が出テ居リマスケレドモ、政府カラ任命スル委託スル所ノ委員ノ如キハ、殆ド農學博士ト云フ肩書ヲ持テ居ルが、其目カヲ私ハ疑フノデアリマス、殊ニ此法律ニ依シテ出來テ居リマスル中央會ノ如キハ、果シテ相當ノ活動ヲ致シテ居リマスカ、又組合カラ代表スル人ハ相當ノ方が出テ居リマスケレドモ、政府カラ任命スル委託スル所ノ委員ノ如キハ、殆ド農學博士ト云フ肩書ヲ持テ居ル方モアリマスシ、法學博士ト云フ肩書ヲ持シテ居ル方モアリマスケレドモ、蠶絲ト云フコトニ付テハ殆ド研究及學術ノ能力ナキ位ノ者ガ二三名加シテ居ル、甚ダ失禮ナ申分デアリマスケレドモ、ソンナヤウナ狀態デ私ハ幾ラ法律ヲ制定シテモ、此蠶絲業ハ一面テ居ル方モアリマスシ、法學博士ト云フ肩書ヲ持シテ居ル方モアリマスケレドモ、蠶絲ト云フコトニ付テハ殆ド研究及學術ノ能力ナキ位ノ者ガ二三名加シテ居ル、甚ダ失禮ナ申分デアリマスケレドモ、ソンナヤウナ狀態デ私ハ幾ラ法律ヲ制定シテモ、此蠶絲業ハ一面ナケレバ行カヌ、今戰爭中デ、伊太利佛蘭西ノ黃蘭種ガ賣レナイカラ、其間ニ鬼ノ居ナシエニ亞米利加ニ賣込ムト云フガ如キヨトハ宜シイカモ知レヌケレドモ、將來ノ蠶絲業ヲ

擴張シテ、生産ヲ發達シテ、世界ノ霸權ヲ執リ、隣國ノ支那ノ養蠶ト共ニ扶ケ携ヘテ進シテ行クト云フ蠶絲業ノ根本政策ニハ私ハ觸レテナイト思フ、蓋シ降旗君等ノ先刻ノ御質問ノ一斑ニ依ツモ明カニ證明サレテ居ル、又半谷君ノ御質問ニ依ツモ、蓋シ私ノ言ハント欲スル所ヲ問ウテ居ルノアルデ、此場合ニ蠶絲業ノ憲法トモ申スベキ所ノ法律ヲ作りマスルニハ、モソット此農商務當局ニ於テ、又蠶業試驗所ト云フヤウノ簡易ノ試驗ノ場所モ出來テ居ルノアリマスカラ、病毒ノ歩合ノ検査ニ就テモ、亦一蟻飼育ニ就キマシテモ、少シ年來金ヲ掛ケテ居ル當局ト致シマシテハ、モ少シ便リアル所ノ法律制定ノ資料ヲ吾ニ與ヘ、又吾ニ窺ヒ知ルコトノ能ハザル所ノ材料ヲ與ヘテ協賛ヲ下サルコト、信ジテ居リマスガ、私ハ今日ハ委員會ヲ開イテ一日目デアリマスケレドモ、甚ダ此材料ノ貧弱ニシテ、且又信念ノ乏シキニ驚イタノデアリマス、殊ニ此間要求致シマシタ施行細則ノ命令ナドヲ見マスレバ、百分ノ二ト云フコトが中央會ニ諧問シテ略ゾソニ決定ニナツテ居ツタ、又蠶絲會アタリデ當業者ガ參ツテ百分ノ一ト云フヤウニ申合セ決議ヲスルト、其割合ヘ又モ既ニ爰デ墨デ加ツテ百分ノ一ト云フコトニナツテ來テ居ル、然ラバ吾ニが更ニ千分ノ五、千分ノ三ト云フコトヲ決議シタナラバ、又ソレニ直ホスデアリマセウ、此ノ如キ國家ノ命脈、產業上ノ大ナルモノニ向ヒマシテハ、モソット確乎タル根本政策ヲ確立シテ行ク必要ガアリハセヌカ、殊ニ病毒ノ問題等ニ付キマシテハ、歴史ハ吾ニ外國ニ於キマシテモ其例ヲ澤山示シテ居ル、又内地ニ於テモ其例ヲ示シテ居ル、現ニ又交配種ノ病毒ニ付キマシテモ、新ラシキ適例ヲ吾ニ與ヘテ居ルノアリマス、現ニ滋賀縣ノ神崎郡旭村ニ於キマシテハ、非常ナル病毒ノ爲ニ、一代交配種ノ全滅ヲシテ居ル、又京都ノ天田郡ノ上喜久村ニ於テモ、本年ニ於テ非常ナル病毒ノ爲ニ、恐ルベキノ澤山アルデハナイカ、是等ニ付キマシテ一向吾ニが科學研究ノ上、又科學研究ノ機關が出來テ居ルニ拘ラズ、參考書ヲ要求スレバ、殆ド吾ニノ智識以下ノモニシカ提供ガ出來テ居ナイ、故ニ此委員會ヲ開キマシテ、各位カラ質問スル所ニ政府委員ノ答フル所デハ大差ガナイ、大差ガナイト云フヨリモ、或點ニ付キマシテハ、寧ロ委員各位ノ方が有力ノ材料ヲ私共ニ與ヘ下スツテ居ルト云フヤウノ傾向デアルノアリマスカラ、此法案ニ付キマシテハ甚ダ申シテ失禮ノヤウデアリマスケレドモ、モソット此將來ノ產業政策ヲ根本カラ確立スルニハ、確カリヤラナケレバナルマイト考ヘルノデスカラ、又臨時生産調査會等ニ於テハ、確カニ此生絲ニ付キマシテモ調査中デアルサウデアリマスガ、臨時產業調查會アタリデハ產業政策ノ根本ニ付キマシテハ、當局ハ何カ御定メニナツタ方針ガ御坐イマセウ、此議會ノ此法律ヲ作ル場合ニ於テハ、是非トモ此產業政策ノ根本政策ガナケレバナラヌノデアル、然ルニ現行法律ハ制定以來十年ソレニ伴フ所ノ原蠶種製造所ハ試驗所ニ變化シ、其試驗場ハ國民ノ膏血カラ多大ニ出シテ居ル期待ニ背イテ居ル者ハ種々セウケレドモ、甚ダ参考ニスルダケノモ、が出來テ居ナイ、又法律ニ伴ツテ居ル中央會ノ如キモ、殆ド當業者カラ參ツテ居ル所ノ代表者ハ、種屋カラ代表シテ出テ居ル者ハ種

屋ノ便宜ヲ圖ルヤウナコトデ、製絲家ヲ代表サシテ居ル者ハ製絲家ノ便利ヲ圖ル、問屋業ヲ代表スル者ハ問屋業ノ便利ヲ圖ルト云フヤウニ、議論バカリシテ居ツテ、殆ド一國ノスガ、併ナガラ私ハ熟、我國今日ノ有様ヲ見ルト、決シテ蠶絲業全體ヲ代表シタ輿論デナイト思ヒマス、輿論デアリマセヌカラ、此議論フ昨年中央會三諮問シタ時ニ、三府四十二縣デ大部分ハ贊成ヲセラレタ、而シテ一年經ッタ今日ニハ、大分議論が變ツテ來テ、此諮詢サレタ答案モ議論ガアツテ、法律案ノ内テ歩合検査ノ如キ、一蛾飼育ノ如キ、問題ニナツテ居ル、又此検査手數料ノ如キモ、確カニ良イト言ハレテ居ヌ、加之私ハ各地カラ私ハ私一己トシテ友人ト力ヲ盡シテ、此意見ヲ各方面カラ取寄セタ所、又技術家當業者ノ方面カラ意見ヲ取シタ所ニ據ルト、決シテ此法律ノ改正案ニ表ハシタ精神ハ蠶業界一般ノ聲デナイト云フコトハ認メルコトガ出來ルノデアリマス、此場合ニ別段當業者ヲ困ラセル意味アリマセヌ、此議會ニ此法案ヲ當委員會が尙ホ期日モアリマセヌケレドモ、夜ヲ日ニ繼ギテモ十分ニ研究致シマシテ、吾々ハ折角良いモノニシタイト思シテ、中央會等ノ組織ヲ致シ、中央會ノ研究等ヲ待ツタノデアリマスカラ、是等ノ研究機關ハ幾ド吾々が參考ニハヤリマスケレドモ、之ヲ基礎トシテ法律ヲ制定スル迄ノ信賴ヲ置クコトガ出來ナイ、唯衆議院ニ於ケル當委員會ハ皆一粒撰リノ斯業ニ御經驗ノアル方デアル、或ハ蠶種ヲ製造シ、或ハ製絲家或ハ養蠶家デアル、又私ノヤウニ養蠶モノデアリマスカラ、政府委員ハ當委員會ノ審査及審査ノ結果ニ付キマシテハ御懇談ヲ下サイマシテ、此法案ヲ大修正ニナリマスカ小修正ニナリマスカ、若シ此委員會ノ意嚮在ハ勿論將來ノ產業ヲ改善シ、此大革命ノ時期ニ少クトモ根本政策ヲ立テタイト思フアル方デアル、或ハ蠶種ヲ製造シ、或ハ製絲家或ハ養蠶家デアル、又私ノヤウニ養蠶モノデアリマスカラ、政府委員ハ當委員會ノ審査及審査ノ結果ニ付キマシテハ御懇談ヲ下サイマシテ、此法案ヲ大修正ニナリマスカ小修正ニナリマスカ、若シ此委員會ノ意嚮ガソレデアリマスレバ、御同意下サイマスカ、尤モ唯今農商務大臣ノ御出席以前ニ於テ、政府委員カラハ明カニ二三ノ御同意ノ意味ハ代表サレテ御答ニハナツテ居リマスケレドモ、大切な事柄ヲ御坐イマスカラ、折角御出席ヲ煩ハシマシテ、遠慮ノ無イ失禮ナ事モ申上ケマシテ、當局大臣ノ意見ヲ徵スル次第アリマス

○國務大臣(仲小路廉君) 唯今委員長ヨリ詳細ナ御話ガアリマシテ、其内ニハ私共大ニ参考ノ資料ト致シテヨ宜イ事モ御坐イマシタ、其點ハ深ク謝シマス、今日此國家必要ニ蠶絲業ニ付テ、政府ハ之ニ對スル根本的ノ考慮ヲ致シテ居ルガ、實ニ民間ノ時局ニ際シテノ我農村農民ノタメニ、養蠶製絲ノ事ガ大ナル關係ヲ有ツテ居ルコトハ深ク自分等モ認メルノデアリマス、何トカシテ將來我蠶絲ノ事ハ此上ニモ發達致スヤウニ、折角今日此時局ニ際シテ、昨年ノ如キ、又今年春ノ如キ、極メテ生絲ガ好況ヲ保テ居リマス、勿論此時局ニ於テ我ガ利益ヲ擧グベキモノハ舉ケテ宜イト信シテ居リマス、併ナガラソレト同時ニ將來ニ於テモ是等ノ相當ノ畫策ヲシテ居ラヌケレバ、今日ノ好況ハ他日又非常ナ反動ガ來マス、此故ニ農商務省ニ於キマシテ産業調査局ヲ設置イタシマシテ、單リ内地ノ事ハカリデナク、朝鮮満洲殊ニ支那ノ如キ、將來ハ餘程考慮致シテ置キマセヌト、此關係が我蠶絲業ガ將來長ク續イテ此隆昌ヲ保チ得ルヤ否ヤト云フコトハ、

四十二縣テ大部分ハ贊成ヲヒテレバ、而シテ一年經シタ今日ニハ、大分議論が變シテ來テ、此諮詢サレタ答案モ議論がアツテ、法律案ノ内テ歩合検査ノ如キ、一蟻飼育ノ如キ、問題ニナツテ居ル、又此検査手數料ノ如キモ、確カニ良イト言ハレテ居ラヌ、加之私ハ各地カラ私ハ私一己トシテ友人ト力ヲ盡シテ、此意見ヲ各方面カラ取寄セタ所、又技術家當業者ノ方面カラ意見ヲ取タ所ニ據ルト、決シテ此法律ノ改正案ニ表ハシ別段當業者ヲ困ラセル意味アリマセヌ、此議會ニ此法案ヲ當委員會が尙ホ期日モアリマセヌケレドモ、夜ヲ日ニ繼ギテモ十分ニ研究致シマシテ、吾々ハ折角良イモノニシタイト思シテ、中央會等ノ組織ヲ致シ、中央會ノ研究等ヲ待ツタノアリマスカラ、是等ノ研究機關ハ幾ド吾々ガ参考ニハヤリマスケレドモ、之ヲ基礎トシテ法律ヲ制定スル迄ノ信賴ヲ置クコトガ出來ナイ、唯衆議院ニ於ケル當委員會ハ皆一粒撰リノ斯業ニ御經驗ノアル方デアル、或ハ蠶種ヲ製造シ、或ハ製絲家或ハ養蠶家デアル、又私ノヤウニ養蠶モ製絲モ致シマセヌケレドモ、斯業ニハ何ノ關係ハアリマセヌケレドモ、十數年來諸君ノ教ヲ被シテ居ズテ、少シバカリ知シテ居リマス者ガ寄テ居ル所デアリマスカラ、當委員會ハ現在ハ勿論將來ノ產業ヲ改善シ、此大革命ノ時期ニ少クトモ根本政策ヲ立テタイト思フノデアリマスカラ、政府委員ハ當委員會ノ審査及審査ノ結果ニ付キマシテハ御懇談ヲ下サイマシテ、此法案ヲ大修正ニナリマスカ小修正ニナリマスカ、若シ此委員會ノ意嚮ガソレデアリマスレバ、御同意下サイマスカ、尤モ唯今農商務大臣ノ御出席以前ニ於テ、政府委員カラハ明カニ二三ノ御同意ノ意味ハ代表サレテ御答ニハナツテ居リマスケレドモ、大切ナ事柄テ御坐イマスカラ、折角御出席ヲ煩ハシマシテ、遠慮ノ無イ失禮ナ事モ申上ゲマシテ、當局大臣ノ意見ヲ徵スル次第アリマス

是ハ隣邦支那ニ於ケル蠶絲ノ状態ガ大ナル關係ヲ有ツノアリマス、故ニ此點ニ付キマシテハ今日ニ於テ頃ニ將來ノ計畫第ラ致スベキが必要ト認メマス、今回農商務内ニ設置致シマシタ産業調査局ノ調査モ、項目ノ重大ナルモノノトシテ既ニ其等ニ付テ調査シテ居ル次第アリマス、又今日ノ時代ハ總テ化學工藝ノ進歩ニ依ツテ此文化ヲ現ハシタ譯テアリマスカラ、養蠶製絲ノ事モ勿論其數ニ漏レナイノアル、畢竟總テノ改良ハ皆其文化ノ賜デアリマスガ、而シテ技術上及學術上ノ事、之ヲ實地ニ應用スベキ事、ドコ迄應用セラル、カ、今日原蠶種、原々蠶種、總テ著シク進歩シタノモ、是等ニ賜ニ外ナラヌノアリマス、是ニ付キマシテ或ハ各地試驗場ノ状態デアリマストカ、又人ノ採用方法等ノ事モアリマスガ、是ハ固ヨリ政府ニ於テ十分ニ注意致シテ、成ルベク遺漏ノ無イ途ヲ講ズルコトハ、私不肖ナガラ將來ハ十分氣ヲ注ケル積リデアリマス、既往トテ固ヨリデアリマスガ、今種々御話ニナリマシタ點ニ付キマシテ、是ヨリ後ニ注意致スベキ事柄、及改良其他講ズベキ事ハ講ズル積リデアリマス、少シモ此點ハ油斷ラ致サヌ積リデアリマスカラ、一日モ速ニ及ブダケ懇篤ナル御審議ヲ願フ次第アリマスガ、何事ニ付アモ完全ラ期スルコトハ難イコトデアリマス、定メシ之ニ付テノ種々ノ異論モ無イトハ申サレヌト思ヒマス、併ナガラ萬事ニ付テ完全ラ期スルコトハ六ヶ敷イ、又總テノ議論ナカラシムルコトモ恩澤ニ露ハシムルコトが出來ルト思ヒマス、ドウカ此際折角蠶絲業ノタメデモアリマスカラ、一日モ速ニ及ブダケ懇篤ナル御審議ヲ願フ次第アリマスガ、何事ニ付アモ完全ラ困難デアリマス、出來得ル限りハ當局トシテ適當ナ方法ヲ講シテ往キタイト私ハ深ク思マシテ、修正ノ御意見ノアリマスコトニ付キマシテハ、是ハ又議員トシテ當然有セラル、權能テアリマスカラ、修正ノ起リマスクトハ何トモ致方がナイ譯アリマスガ、併ナガラ相成ルベクハ此際一日モ速ニ此法律ノ通過ハ深ク希望致ス次第アリマス、法文ノ點ニ付キマシテ、修正ノ御意見ノアリマスコトニ付キマシテハ、又其御意見ノ定リマシタ上デ、同意ノ致サルベキモノハ同意ト申シマシテ宜シイノデアリマス、願クハ一日モ速ニ此案ガ成立致シマシテ、來年ノ春早々ヨリ此恩澤ニ露フヤウニ致シタイト存ジマス、別シテ私ハ委員長ニ向シテ申上ゲテ置キマス

○降旗元太郎君 私モ質問ト云フヨリハ希望ノ方ガ多クナルカモ知レ マセヌケレドモ、農商務大臣御出席ノ場合ニ於テ、唯今御話ニナリマシタ一ツノ事柄ニ付テ、御坐イマスガ、第一ニ手數料ノ問題、是ハ農商務大臣モ同ジ意見ヲ御持チニナツテ居ルが、現在財政ニ關聯セルガ故ニ、今直グニ此法案ヲ提出シテ議會ニ於テ止メルコトハ爲シ難イ、斯ウ云フ御話アリマス、ソレカラ、私ナド自分デソレニ意見ヲ付ケレバ、理論トシテ之ニ農商務大臣モ御同意デアラウガ、強テ短期ノ臨時議會ニ於テ是非共アレヲ止メナケレバナラヌト云フ議論ヲシテ、ソレガ爲メ此法案通過ヲ鈍ラスト云フ考ハナイノデ、御坐イマスカラ、恐ラクハ諸君モ同ジアラウト思フ、唯ミ此希望ヲ屬シテ暮ノ議會アタリニ其手數料ヲ止メル目的ガ達スレバソレデ宜イト思フカラ、是ハ後トテ此委員會ニ於テ御相談ガアラウト思フ、ソレカラ第二ハ關稅ノ問題デ御坐イマス、是ハ唯今御話ニナリマシタ所デ、農商務大臣ノ段ニ御心配下サレタコトハ深ク感謝致シマスガ、大藏大臣ノニ御同意

ニナラヌコトハ甚ダ遺憾ニ思フ、而シテ此問題ハ此法案通過ニ重大ノ關係ガアルト思フ、外國ノ蠶種ヲ輸入シテソレヲ掃キ立テルコトガ出來ナイ法文ニナツテ居ツタノデ御坐イマス、ソレヲ此度ノ改正案ニハ全然削除サレテ、歐羅凹ノ優良ナ蠶種ヲ輸入スルコトノ出来ルヤウニ此法案ハナツテ居リマスカラ、此點頗ル此法案ヲ此一點ニ付テダケ言ツテモ、此議會テ若シ貴衆兩院ヲ通過シナイコトガアツタラ大變ダトスウ私ハ思ヒマスシ、恐ラク者矣首ニ左様思ヘキミ、ハ一ハミトロアラクト思ア、而シテ外國ノ蠶種ヲ輸入スレ易シ

矢張リ農商務大臣カラ其意味ヲ以テ御交渉下サルト、何カ廉が立ツヤウデアリマスケレ
ドモ、其意味ハ矢張リ農商務大臣カラ大藏大臣ニ御話置ヲ乞フダケニ打切ツテ置ク方
か宜イタラウト思ヒマスカラ、後デ此處ニ委員長ノ手許マテ申出ル積リテ御坐イマスケレ
ドモ、幸ヒ御列席ノ農商務大臣ニ是ダケノ事ヲ御耳ニ入レテ置イテ、大藏大臣ハ之ニ
御同意下サルコトノ御話ヲ切望シテ置キマス

合ニ、關稅定率法ニ於テ、唯ミ同シ種類ノモノガ盡ク無稅ニナシテ居ツバ、例ヘバ魚ノ卵
マデ皆無稅ニナシテ居ル、ソレハ無稅ノ條項中ニ魚卵ト云フ二字ガ付イテ居ルカラ途ガ
開ケタ、其他ノモノハ盡ク一割取ラレテ居ル、蠶種ト云フ二字ヲ魚卵ト云フ二字ノ後ニナリ一
ソレニ蠶種ト云フ二字ヲ唯ミ一項挿入サヘスレバ、是ハ精神ニ於テ關稅定率法ア無稅
クツ著ケサヘスレバケドモ宜シイ、但シ彼處ハ魚貝類トカ云フ中ニ區分シテ魚卵ト云フ中ニ
ニナルベキモノアルコトハ、何者ト雖至了解シ得ルノ御坐イマスカラ、今日ニ至ルマデ
彼ノ蠶種ハ此法律ニ依テ輸入シテ掃キ立テルコトヲ得ナカツタカラレダケノ地位ニ居ツ
タ、是ダケノコトテ御坐イマスカラシテ、大藏大臣ガ當然農商務大臣ニ御同意下サルベ
キ筈思テ居タニ、唯今ノ御話テ甚ダ遺憾ニ思ヒマスケレドモ、ソレヲ角立テ、議論ス
ルコトハ一般ノ利福ヲ思フ所以テナイト思ヒマスカラ、單ニ途ヲ開ケバ斯ウ云フ途ガアル
ト思フ、ソレハ大藏大臣カラ言ヘバ、彼ノ關稅定率表ノ中ニ改正スベキモノハ他ニモ澤
山アルカラ、大藏大臣ガ矢張リ農商務大臣ヨリ御話ニナツタ趣意ヲ御贊成ナスア、ソレ
ヲ提案サレルト云フ場合ニ、隨分斯ウ云フ廉々ガアツテ御困難ニアラウト云フコトヲ其事
ヲ打明ケテ、ソレカラシテ恰モ此前ニ燐寸ノ先ニ付ケル何ト云フモノカ知リマセヌケレド
モ、關稅定率表ノ中ニ明記シテナカツタノデ、非常ニ高キ稅ヲ課セラレルコトニナツタ、其時
分ニモ矢張リ今日ト同シ事情ヲ大藏大臣ヨリ關稅定率表改正案トシテ提出スルコトハ
爲シ難イト云フコトアツテ、議員側カラ何デモ燐寸ノ先ニ付ケル藥ヲ何ト云フカ知リマセ
ヌガ、一字ニアツタコト思ヒマス、ソレヲ關稅定率表ノ中ニ記入スル建議案ヲ出シテ、大藏大
臣之ニ異存ハ無イト云ハレテ、直ニ貴衆兩院ヲ通過シ、其時ト同シヤウニ、此度モ此
委員會ニ居ル者全員が此改正案ノ提出者トナシテ、サウシテ大藏大臣ノ方ニモ内輪デ纏
レバ、衆議院各派ノ者が提出者ニナシテ、内ノ話ハ當然纏リノ宜イモノテ御坐イマスカラ、
即チ衆議院一致ノ決議ニナルベキモノテ御坐イマスカラ、其場合ニ大藏大臣ガ異存がナ
シト仰シヤツテ頂ケバ、是ダケノ手順ヲ御計セヨ受ケマシタラ、唯今申シマシタ農商務大
臣カラ承ツタコトハ感謝致シマスケレドモ、唯今申シマシタ方面ハ從來ノ蠶絲業法ニ於テ
外國ノ蠶種ヲ輸入シテ掃キ立テルコトヲ得ナイト云フ制限ノアリシヲ、此度モ改正案デ
ト偕越デ御坐イマスケレドモ、恐ラク委員長始メ委員諸君ニ於テ一人ノ異存がナイト思
ヒマスカラ、是ダケガ提案者ニナシテ各派ノ中ニ其事情ヲ能ク話ヲシテ衆議院一致ノ決
議ニ行ク、其場合ニ大藏大臣ハ異存が無イト云フコトヲ、ノ燐寸ノ先ノ藥ノ二字ヲ
此前關稅定率法ニ挿入スル件ヲ提出ノ場合ト同ジ様式ヲ以テ言シテ貴ヒマスト、是ハ

○降旗元太郎君 ソレハ農商務大臣ノ御話モ委員長ノ御話モ側面ノ事デ、其側面ハ感謝致シマスガ、今度私ハ異ル側面カラ申スノテ、此法律ガ物ヲ言フノテス、吾ミガ之ニ同意シテ、私自身ノ望カラ言ヘバ、唯今直ニ議論ニ入ッテ、諸君ニ十分ニ御議論ガアレバ時間ガ掛リマスケレドモ、サウデナケレバ今日此處デ決定シタイト思フ、左様ニ私ノ急グ所以ノ眼目ハ、是ハ外國ノ蠶種輸入ノ事デス、一面ニ差止メラレテ居ツタ蠶種ガ、實驗ノ上ニ於テ非常ニ利益有ルモノデアル、ソレハ私此處ニ表ニ依テ言ヒ得マスケレドモ、諸君ノ御承知ノ事デアリマスカラ遠慮シマスケレドモ、二割三割ノ利益ヲ當業者ニ與ヘルト云フ實驗ヲ持ツテ、銘々が足デナクチヤナラヌト言ツテ居ル時ナンテス、而シテ此外國種輸入ノ事ハ、本案ノ精神ノ總テノ條項ニ大ナル關係ヲ持ツテ居ル、其一面ニ外國種ヲ輸入シ、掃立テルコトヲ差止メテ居ツタノヲ削ツテ、此外國種ヲ掃立テル云フコトニ伴ウテ、又法文ニ種々ナル關係ヲ持ツテ居リマス、其法案ヲ一面ニ可決スルノデアリマシテ、一面ニ是ハ當然關稅定率法ノ精神ニ於テ、誰モ異存ノ無イ事ダカラ、蠶種ノ二字ヲ插入スルコトヲ大藏大臣カラ提案スベキ告デアルケレドモ、ソレハ農商務大臣ノ御話ニ依ツテ差控ヘテ、サウシテ吾ミ議員側カラ提案シテ議場ヲ通過スル、其時ニ御同意ヲ受ケタイ、豫メ此事ヲ申上ゲルノハ、今農商務大臣ノ御話ニナック事ヲ繰返シマスカラ、左様ナ場合ニ御返辭ハ求メナイデモ宜イガ、農商務大臣カラ吾ミノ意ノ存スル所ヲ御話ヲ願ヒタイト云フコトヲ私カラ希望スルダケニ止メテ置キマス

○委員長(武藤金吉君) 尚尙當席カラ一言致シテ置キマス、吾ミガ此蠶絲業法ノ改正法律案ヲ議院カラ委託ヲ受ケタノハ其通リアリマス、又蠶絲業法ノ改正ト蠶種ノ關稅トノ牽連シテ居ルコトモ、是モ拔差シノナラヌ關係デアリマス、併ナガラ蠶絲業法ガ未ダ審査中デアリマシテ、之ヲ可決スルカ否決スルカ分リマセヌ場合ニ、唯今ノハ御相談デアルト思フノデアリマスガハ若シ當委員會が審査ヲ終ヘズ決定セナイ中ニ、同時ニ關稅定率ノ改正案ヲ提出スルコトハ如何デアルカト思ヒマス、併ナガラ委員會ノ權能ヲ提出が出來ヌコトハアリマセヌ、出來マスガ、本案ガマタ審査中デアルノニ、偶々牽連シテ居ルカラ質問モ起り、此程速記ヲ廢シテ農商務大臣ニ懇囑シタ所ガ農商務大臣ハ此意

ヲ諒トセラレテ唯今御説明ニナッタヤウナ運ビニナツテ居ルノアリマスカラ、先以テ唯今折角降旗君ノ御相談デアリマスケレドモ、當委員會が本案ヲ審査シ、本案ヲ全然賛成スルカ、若クハ修正スルカ、否決スルカ、本案ノ運命ヲ定メル場合ニ御相談ガアツテ相當ダラウト思ヒマスカラ、唯今ノ事ハ法律ニ無イコトデアリマスケレドモ、農商務大臣モ先刻御説明ニナツテ居ルノニ、更ニ降旗君ノ御相談ニハ如何カト思ヒマスシ、亦當委員會トシテモ本案ノ審査ヲ進行致シマシタ上テ運ア方ガ穩當ナリト思ヒマスカラ、姑クソレハ懸案トシテ農商務大臣ノ答辯ハ御控ヲ委員長カラ御願ヲ申シタイト思ヒマス、如何デス、御相談デスガ

○降旗元太郎君 イマ貴方ニ任セルト云フコトハ異存アリマセヌ、唯ミ私ハ本案ヲ決議スル場合ニ於テハ、ソレハ一應諸君ノ御意向ヲ承ツテモ宜シウ御坐イマスシ、ソレガ手續上御困リナラバ、私一人ハソレ条件トシテ本案ニ賛成シタイト思ツテ居ルノデス、ソレデ先刻來ア、云フ事ヲ申シタノデ、農商務大臣ノ御答辯ヲ差控ヘルト云フコトハ異存アリマセス、折角農商務大臣ガ御話ニナッタケレドモ、ソレヲ私が反古ニシテ申ストデ無イト云フコトハ今私ノ申述ベタ事デ書イテ居ルヤウニ思ヒマスガ、重ネテ言ヘバ農商務大臣ガ唯今迄ニ大藏大臣ニ向ク御談合下サレタコトハ深ク感謝ヲ致シマス、唯ミ他ノ側面カラ見テ私ハ依然トシテ當初ヨリ主張スルガ如ク此關稅定率法ノ中ニ蠶種ノ二字ヲ插入スルト云フコトハ、此議會ニ於テ此蠶絲業法改正案ヲ通過スルト共ニ、同時ニ通過セザルベカラザルモノト信ズルノデ、是モ此場合ニ農商務大臣ノ御答ヲ得レバ、今迄ノ御盡力ヲ再ビシテ下サイト云フコトニナルカラ、ソレハ農商務大臣ノ御願ニ係ルト思フが故ニソレハ申シマセヌガ、唯ミ委員ハ斯様ナ考デ居ルナト云フコトダケラ御聞キ置キヲ願ヒタイト希望シタノデス

○隅田豊吉君 私ハ此場合農商務大臣ニ御尋ブシタイ此總テ種ノ選擇ト云フコトハ、一層嚴密ナ上ニ最嚴密ニシナケレバナラスト云フコトハ、固ヨリ論ヲ俟タヌ話デアリマシテ、彼ノ植物ノ種ノ選擇ノ上ニ於テモ種々ナル方法ヲ以テ選擇スル次第アリマス、出來得ル限リノ方法ヲ以テ種ノ選擇三努力シテ居ル次第アリマス、單ニ植物バカリニ非ズシテ、動物ニ於テモ尙ホ其通リアリマシテ、今回御提案ニナリマシタル所ノ蠶絲業法ノ改正案ノ一大骨子トナツテ居ル一蛾飼育ト云フコトニ付テハ、私共ハ純理トシテハ洵ニ良イ事デアルト確信致シテ居リマス、サリナガラ之ヲ實行スルニ至リテ、果シテ支障無キヤ否ヤト云フコトハ、大ニ疑問ト致ス次第アリマスガ、本日本委員會ニ於テ降旗君其他同僚委員諸君カラ縷々御質問中ニ、當局ノ御説明モアリマシテ、ソレニ付キマシテ矢張或ル程度ニ依ツテスルト云フ、其或ル程度ト云フコトニ信賴シマシテ了解ヲ致ス次第アリマス、所デ是テ果シテ歩合検査ノ事デアリマスガ、先刻芳賀政府委員ノ御答辯ニ依リマスルト云フ、而シテ歩合検査ヲ行フ所ノ者ハ相當經驗ト知識ヲ有シテ居ル蠶業取締所ノ吏員ヲ以テ當ラセル歩合蠶種ノ検査ハ蠶業取締所ノ雇員ヲ以テ當ラセラル程度ノ雇員ニ從事セシムルト云フコトニナリマシテハ、其病毒ノ歩合ヲ假リニ百分ノ一以内ト限定シタ所デ、果シテ該検査テ先刻委員

長カラ各地方ノ報告ヲ例トシテ引證セラレタ如ク、殊ニ近來ハ外國蠶種其外國蠶種ノ中ニ於テ歐羅巴種ノ如キ極メテ病毒ニ堪ヘ得ルカ堪疫性ノ力ノ弱イモノガ段々流行シテ居ル此時機ニ於テ、果シテ十分ナル結果ヲ奏スルコトが出來マセウカ即チ簡単ニ申シマスレバ、此病毒ノ検査ヲヤリマシテ、果シテ蠶種ノ検査ト云フコトニ付テ誤リ無キヲ得ラレマセウカ、是ハ當局ニ於テハ十分ナル責任ヲ以テ御答辯ヲ願ヒタク、ソレカラドウ云フ譯アサウ云フコトノ質問ヲスルカト云フニ、由來此日本ノ蠶業界ニ於テ、甚ダ先進地ノ方ノ諸君ヲ前ニ置キマシテ失禮デアリマスガ、從來ノ經驗ニ徴シマスルト云フト、後進地ノ方が餘程蠶種ノ検査ト云フコトニ付テハ甚ダ嚴密ニアリマスガ、先進地ノ方ハ稍サウ云フ點ニ於テハ比較的完全全デナイ、寛大デハナイカト云フ私共ハ疑ガアルデアリマス、ソレハドウ云フ所以テサウ云フコトヲ申スカト云フニ、私共ガ從來自分ニ取扱ツテ居タ事柄、其事柄ニ對シテ斯ウ云フ疑問ヲ有シテ居ルノデアル、ソレガ實例ヲ申シマスルト、私自身ノ有ツテ居ル實例ニアリマスガ、私共ノ地方ハ蠶業地トシテハ極メテ後進ノ地方ニアリマス故ニ、此蠶業ニ關シテノ總テノ事柄ハ總テ先進地ノ指導、又先進地ニアル所ノモノ、或ハ蠶種ニセヨ、總テ優良ナルモノト確信ヲ致シテ居リマスガ爲ニ嘗ア大正二年及ビ大正三年ノ二箇年度ニ於キマシテ、私共ハ友人ノ二井物産横濱支店ノ或ル人ヲ介シマシテ、長野縣ノ或ル優等ノ蠶種製造家ニ向クテ一ツ蠶種ノ配付ヲ申出テタノデアリマス、サウシテソレガ極メテ高價ナル値段ヲ以テ買入レマシテ、サウシテソレ自分ノ方ノ原蠶種製造所ニモ分ケ、又各養蠶家ニモ分ケテヤリマシタル所ガ、ソレガ一代交配種デアルト云フ積リデ求メマシタモノガ、飼育ヲシテ繭ニナル結果ヲ見マスルト、蠶兒ノ間ニセ色ミ混ツテ居リマシタガ、果シテ繭ニナリマシタル時ニハ雜駄ナモノニアリマス、二代モ三交代モノ交配種デアリマシタ、ソレカラ群馬縣ノ方デモアリマシタガ、武藤サンヲ前ニシテ失禮デアリマスガ、果シテ繭ニナリマシタル時ニハ雜駄ナモノニアリマス、二代モ三交代モノ交配種デアリマシタ、ソレカラ群馬縣ノ方デモアリマシタガ、武藤サンヲ前ニシテ失禮デアリマスガ、ソレモ三行シテ検査シタ特別蠶種アリマスガ、ソレガ検査ヲシマスルト、病毒ガ非常ニ多イ、ソレヲ原蠶種ニ供スルコトが出來マセヌノミナラズ、普通蠶種ニモ出來マセズ、甚ダ遺憾ニ存ジタ次第アリマス、斯ウ云フ點カラ苦吉イ經驗ヲ有シテ居ルノデアリマス、此苦吉イ經驗ハ單リ私共バカリデナクシテ、他ノ幾多ノ地方ニ於テモスノ如キ經驗ヲ有セラル、コト、存ジマス、是ハ私共ノ經驗シタ先進地ニ關スル實例デアリマスガ、免ニ角縣ニ依ツテサウデアリマセヌガ、岐阜縣トカ愛知條トカサウ云フ縣ト、先進地ノ府縣トヲ比較シマスルト云フト、後進地方ノ方デサウ云フ點ニ付テハ嚴密ニアツテ、先進地ノ方が其點ニ付テハ寬大デハナイカト云フ疑ラ自分ノ苦吉經驗ニ依ツテ懷イテ居ル、サウ云フ次第アリマスルガ故ニ、私共ハ斯ノ如キ検査ノ方法ヲ以テ誤リハナイカト云フコトニ付ア寶ハ疑問ヲ有シテ居ルノデアリマス、之ヲドウカ私共ノ會得シ了解シ得ラル、ヤウニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラサウ云フヤウナ例デアリマスノデ、私共トシテハ假リニ當蠶絲業法が確定致シマシテ、ソレニ對シテ勅令省令カ即チ施行細則ガ發布セラレ、ソレニ對シテ原蠶種検査ノ手續トカ取扱法ガ縣令ニ依ツテ公布セラル、場合ニ於キマシテ、何レ當局ノ考デモ殆ド此帝國內ノ蠶種統一ト云フ意味ニ於テ御検査ニナル手續ヲ御示シニナルデアリマセウガ、私共ノ考ヘル所ニ依レバ、成ル程注文モ大切デアリマスルガ、其府縣ニ至リマシテ實地ニソレヲ施行スルニ當リマシテハ、大ニ府縣當局ノ手心ガアルノデハナイカ、ソレ

ニ當ル所ノ蠅業取締所吏員ノ手心ガアルノデハナイカト云フ疑ガアルノデアリマスガ、ソレ等ニ對シテ當局ハ如何ナル取締ヲナサルノデアリマスカ、検査ヲ嚴密ニスルヤ否ヤト云フコトハ、即チ府縣ノ實際ニ於ケル問題ニナツテ來ル、サウ云フコトニ至リマスルト云フト、其取締吏員ヲ節約スルト云フヤウナ結果ト致シマシテ、先刻芳賀政府委員ハ左様ナ事ハ分ラヌト云フコトデアリマシタガ、勢ヒ經費ガ膨脹致シマスト、サウ云フヤウナ次第ニナルノデアリマスカラ、私共モ考ヲ持ツテ居リマス、其點カラ見マスルト云フト、無論私共ハ蠅種検査ヲ國費支辨ニスルト云フ議論ニ歸著スル譯デアリマスケレドモ、ソレハ別問題ト致シマシテ、免ニ角此事ニ付テ當局ハ如何ニ御考ヘデアリマスカ、其ニツノ點ニ付テ御答ヲ煩シマス。

○國務大臣(仲小路廉君) 隅田君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、御質問ノ要點ハ歩合検査ノ實行——本案通過ノ曉ニ實行上ノ事ニ付テ不都合ナ事がアツテハナラヌト云フ御質問ノ點ハ、洵ニ御尤ダト存ズルノデアリマス、政府ニ於キマシテモ此法律ヲ提案致シマシタ趣意ハ、全ク養蠅生絲ノ爲メヲ考ヘタコトデアリマス、一二ハ成ベク善良ナ種ノ行ハルコトヲ期スル次第アリマス、此實行ニ付キマシテハ、能ク此法律ノ精神ニ適フヤウナ途ヲ執リタイト存シテ居リマス、府縣ノ關係上區區ナ事が出來タリナドスルト、遂ニハ折角ノ法律モ實行上ニ於テ用ヲ爲サヌコトガ出來テ參リマス、私ハ主務ノ局長其外ノ人々ニモ言シテ居ルノデアリマス、此法律ヲ愈々實施スル時ニハ、一面ニソレダケノ準備ヲ盡サケレバナリマセス、場合ニ依リマスレバドウシテモ府縣ノ直接事ニ當ル者ヲ本省ニ一ツ集メマシテ、ソレハ講習ノ道モ執リ、適切ナ方法ヲ講ジタトイト存シマス、實ハソレガ爲メニ丁度來年ノ春蠅ノ頃カラ之ヲ實施シヤウト思フト、一日モ早ク大體ノ案ヲ成立セシメテ置イテ、其間ニ相當ノ時間ノ餘地ヲ置イテ、實施上遺憾ノ無イヤウニ準備ヲ盡シタトイト考ヘマス、サウデナインラバ此短期ノ議會ニ此案ヲ出スコトハ如何カト考ヘマシタガ、此冬ノ議會ニ迴リマスト、實施ニ付テモ餘地モ無ク、時モナク、又一年延バサナケレバナラヌ、即チ此議會ニ於テ御協賛ヲ經テ成立致シマスレバ、即時種々ノ準備ニ掛ツテ實行上ニハ遺漏ノ無イコトヲ期スル

○若尾幾造君 私ハ尙ホ大臣ノ先刻ノ御答テ検査料ノ此場合國庫ヲ持ツト云フコトガ出來ナイト云フ御答辯アリマシタガ、サウ致シマスルト此法律ヲ議シテモドウダラウカト思ヒマス、唯今御述ベニナツタ通り、私モ此交配種ハ二十五年御坐イマス、始メマシタノガ——ソレデ私ハ横濱ノ唯ニ絲ノ取次商人デアリマシテ、製絲ヲ直轄致シテ、自分致シマシタガ、支那ノ蘭ヲ飼ヒマシテ初メテ知リマシタノデ、是ハ實ニ非常ニ性質ノ良イモノダト云フコトカラ考ヘマシテ、ソコデ何トカ之ヲ日本テヤツラ宜カラウト云フノデ、ト云フコトニ付テ、今日ノ場合ハモウ日本全般ニ瓦リマシテ交配種ヲ造ラナケレバナラヌ、尙ホ坐イマシタ、世間ニ知ラレヌ所ノモノガ十五六アリマス、ソレデ段々ヤリマシタガ、工合が宣イノデ、私共其種ヲ神奈川縣廳ニ勸メマシテヤリマシタノデアリマス、唯今ノ種ノ検査其時ニ日本ノ角又ト云フモノニ掛合セヨシタ、ソレガヤツテ居リマスト、工合が宜シウ御其中ニ伊太利モ入り、歐羅巴モ入リマシテ、交配種が多クナリマシタガ、サテ今日ノ病毒ノ検査ヲ嚴重ニシナケレバナラヌコトニ至ッタ、ソレデ病毐ノ検査ヲ嚴重ニスルト云フコトニナリマスレバ、費用モ掛リマスガ、是ハ免ニ角四億圓足ラズノ物産御坐イマスカラ、

宜シク政府ガ百万圓、百二三十萬圓ハ御辛抱ナサレテ、之ヲ検査費用ト云フモノニ御宛テナスシテ、嚴重ニ病毐ノ検査ヲナサレマシタナラバ、此日本ノ蠅種ト云フモノハ此二三年ノ中ニ五十万以上六十万棚位ニ達スルト私ハ考ヘマス、ソレテ以前私カ製絲ヲスル時分ニ禪姐、之ニ非常ニ困難ヲシタノデアリマスガ、幸ニ日本デ山陽ニ桑田藤十郎ト云フ人が蘭ノ乾燥ヲシテ居ルコトヲ私カ承リマシテ、蘭ノ乾燥ヲシテ貯藏スルト云フコトヲ聞イタノデアリマス、ドウ云フコトヲスル、斯ウ云フコトヲ聞キマシタ、所ガ口ヲ緘シテ話サヌ、一週間程通ヒマシタ、一週間通ヒマシタ、漸ク國家ノ爲デアルカラソレ話サヌハ不都合デハナリカト云フコト迄切込シテ、ソレカラ御話ニナツタ、其話ヲ聞キマシク所ガ、洵ニ小規模ナモノニ致方ガナリ、其方法ヲ聞イテ參リマシテ、私ガ神奈川縣近傍デ此項一小夜ニ生絲二十亜棚宛乾燥ノ出來ルコトヲ致シマシタガ、其實ハ洵ニ不備ナコトデアリマシタガ、併シ禪姐ニ付テハ非常ナ利益ガアル、其頃ハ皆サンモ當業者ノ方ガ乾燥ナドノコトヲスルニ及バ、是迄通リテ宜イノダト云フコトデアリマシタガ、是ハ段々考ヘマシタガ、是ハ改良スベキコトガ多々アルカラト云フノデ、支那蘭ヲ買ヒマシテ交配ヲ造リマシタ、今日ニナリマスト、病毐ト云フコトニ付キマシテ非常ナル嚴重ナルコトヲナサイマセント、一朝又明治六七年ノ伊太利ノヤウナコトガ出來シハセスカ、之ヲ私ハ心配致シマス、ソレデ検査料ト云フモノハ小部分デアルカラ、ドウカ此検査料ハ國庫カラ御出シナサシテ、サウシテ嚴重ニ検査ヲナスシテ、日本ノ養蠅ノ發達ヲ希望致シマス、ソレカラ言ヒマスト大體検査料ノ事が極リマセント、私共之ヲ議スルコトガドウダラウカト思ヒマスカ、其検査料ガ出來ヌト云フコトニナリマシタナラバ、又其方法ニ依ツテ自分モ考ヘル所ガ御坐イマス、今ノ一蛾飼育ナドノ事モ、私共ハ極く必要ナコトデアルト云フコトハ、日本ノ交配種ト云フモノガ此種が良イアノ種が良イト云フコトガ定ラヌノデアリマス、是ハ暫ク試驗中デアリマスカラ、一蛾飼育ガ私ハ最モ宜イト考ヘマスガ、唯ニ此検査料ニ付テ何等ガノ方法ヲ以テ検査料ヲ國庫デ負擔スルコトニ希望致シタイ

○國務大臣(仲小路廉君) 私モ彼方ノ委員會が御坐イマスカラナルベクナラバ御一緒ニ……

○半谷清壽君 私ノ質問ハチト長ク伺ヒタイコトデアリマスカラ、一緒デハ如何デスカト思ヒマス

○委員長(武藤金吉君) 未ダ委員會が彼方ラニアルサウデスカラ、如何デスカ

○半谷清壽君 ソレデハ私ノハ取消シマス

○國務大臣(仲小路廉君) ソレデハ若尾君ノ唯今ノ御尋ニ御答致シマス、先刻來御述ベノ國庫支辨ノコトニ付キマシテハ、甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、此際國庫支辨ト云フコトハ困難ト云フ事情ヲ先刻申上ゲマシタガ、國庫支辨ト云フコトガ極ラナケレバ本案ヲ議スルノ要ハ無イト云フコトハ、甚ダ政府ニ於テ困難ニ存ズルノデアリマス、今回ノ提案ハ成ルヘク之ヲ成立セシメテ、ソレヨリ生ズル便利ダケハ與ヘタノデアリマス、尙ホ検査ノ事業ニ付キマシテハ、何レニ致シマシテモ矢張リ學術上ノ應用其他ハ先刻委員長ノ言ハレタ通り、ソレハ調查シナケレバナラヌト思フノデアリマス、又實行上ノコトニ付キマシテモ、出來ルダケ此法律ノ趣旨ニ適フ方針ヲ執ル積リテアリマス、其他或ハ關稅事業ニ付テハ、始終大藏大臣トモ御話合ラシテ居ルコトモ御坐イマスシ、大藏大臣ニ

於テモ深キ同情ヲ有シテノコトアリマスカラ、今回直ニ此處デウト云フコトヲ明言スルコトハ困難アリマス、國庫ノ關係トカ、又關稅等ノ大藏省ニ關係ナルコトハ、如何ニ此事ニ熱心ダカラト言シテ、農商務大臣トシテワレニ構ハヌト云フコトハ出來ヌノアリマス、ドウゾ此事情ダケハ能ク御了解ヲ願シテ、成ルベク此案ハ一日モ速ニ御通過ノ程ヲ希望致スノデアリマス

○委員長(武藤金吉君) 今日ハ是デ散會致シマス、サウシテ懇談ヲシタイト思ヒマス
午後四時四十三分散會

衆議院蠶絲業法中改正法律案委員會議錄第二回中正誤

頁	行	誤	正
二三	一二	打開ケテ	打明ケテ

大正六年七月二十日印刷

大正六年七月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局